

2012 静岡大学公開セミナー報告集

通巻第9号

学ぶって楽しい！－大学で学ぼう－

学びの内容とその支援



静岡大学イノベーション社会連携推進機構地域連携生涯学習部門
(講座企画 静岡県障害者就労研究会)

2012 静岡大学公開セミナー報告集

通巻第9号

学んで楽しい！－大学で学ぼう－

学びの内容とその支援

静岡大学イノベーション社会連携推進機構地域連携生涯学習部門
(講座企画 静岡県障害者就労研究会)

目 次

挨拶	2
----	---

【概要編】

講座の趣旨（齊藤 望）	4
特別な支援を必要とする人の生涯学習の構築に向けて（村松智恵子）	6
【報告】 静岡大学公開セミナー「学ぶって楽しい！－大学で学ぼう－」学会での発表 （渡辺明広）	8

【演習・講義編】

「アイスブレイク～学びのなかま～」（大畑智里）	11
「グラフの話～点と線でできた図形を数学的に考えよう～」（大田春外）	19
「ロンドンオリンピック開幕！～イギリスへの旅」（勝又勇紀）	27
「お顔のケアで印象アップ！～素敵な大人をめざそう～」 （佐藤陽子、上鶴りさ、大石景子、勝山枝里子）	37
「ダンスで交流してみよう！－ダンスはみんなの共通語」（山崎朱音）	45

【資料編】

授業後のアンケートの集計結果（社会人・学生）（黒岩一雄、山田里佳）	52
学びのパートナーとして、いっしょに受講して（渡辺明広）	54
参加者の感想（黒岩一雄、山田里佳）	57
これまでの「学ぶって楽しい！－大学で学ぼう－」（五條由美子）	59
スタッフ名簿	67

編集後記	68
------	----

挨拶

これまで本事業を主催してきた静岡大学生涯学習教育研究センターは、2012年4月より、イノベーション共同研究センター、知的財産本部、地域連携協働センターと統合して新たに設立された「イノベーション社会連携推進機構」の傘下に入り、その中の「地域連携生涯学習部門」として位置づけられました。

産学連携と地域連携を一体的に推進していく大きな組織の中の一部門に改組されたわけですが、事業内容やその目的が旧生涯学習教育研究センター時代と大きく変わることはありません。本学が長年にわたって蓄積してきた知的資源を地域社会に開いていくための窓口としての機能は変わりませんし、旧生涯学習教育研究センターが実施してきた公開講座や公開セミナー、シンポジウム、市民開放授業などの大学開放事業も引き続き実施していきます。

この「学ぶって楽しい！—大学で学ぼう—」も、これまで通り、公開セミナーという形で実施し、講座運営のお手伝いをさせていただきました。一般市民の学習の場として大学を開放するだけでなく、知的障害者に生涯学習の場を提供していくことも、これからの大学にとって重要な役目です。知的障害をもつ社会人を対象にしたこの事業は、生涯学習という観点からも非常に価値のあることであり、静岡大学の地域連携を進めていく上でも重要な取り組みです。組織体制が変わっても、健常者・障害者の垣根なく、大学が地域の中でもっと身近な存在になれるよう、これまで以上に努力していきたいと考えています。

最後に、「学ぶって楽しい！」の開催にあたっては、実質的な企画をされた静岡県障害者就労研究会のみなさま、ボランティアで講座運営に尽力してくださった各特別支援学校のみなさまや学生たちの多大なるご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

静岡大学イノベーション社会連携推進機構地域連携生涯学習部門長 阿部 耕也

挨拶

今年度も2回（通算第14回、第15回）の「学ぶって楽しい！－大学で学ぼう－」が開催できました。静岡大学内外の関係者のご協力を得て、大学と地域の関係機関、それに本会との連携のもと、学びが広がりました。この小冊子は、学びの内容とその支援についてまとめた報告書ですが、受講された社会人のみなさんや学生の感想の声とともに、さらに、学びの内容の深まりを求めていきたいと考えます。

「学ぶって楽しい！－大学で学ぼう－」を企画する本会（静岡県障害者就労研究会）は、知的障害のある方や自閉症の人たちが、学校を卒業した後、働くこと（就労）によって自立と社会参加を図ることを支援するための学習や研修を自主的に進めている団体です。研修を進める過程で、働き続けるためには、余暇の時間の有効活用がきわめて大切なことに気づき、その具体的な方法と支援のあり方について考え始めたとき、自己啓発や生活の充実などを目ざす生涯学習に出会いました。全国的にも、各地の大学等で障害をもつ人たちに対する生涯学習についての理念や具体的方法の模索が始まった頃でした。

その「学ぶって楽しい！－大学で学ぼう－」が、静岡大学の公開セミナーとして、大学会館等の施設をお借りし、また、大学教員等に講師を引き受けていただき開催することになって、足掛け8年になりますが、最近は50～60名の受講希望者がお集まりです。リピーターも多く、また、教育学部の学生が“学びのパートナー”となって共に受講し、スモールワーク（ミニ演習）に一緒に取り組み、学習支援などに加わってくれることも、受講者の学びの支えとなっています。学生との交流を伴う、“ユニバーサルな学び”であるところに大きな特徴があります。

結びに、毎回、ご尽力いただいている静岡大学社会連携推進機構地域連携生涯学習部門の先生方、講義をしていただいた講師の方々、静岡、焼津、藤枝市の青年学級、スタッフである県下の特別支援学校の先生方、静岡大学教育学部の特別支援教育専攻の学生みなさんなど、多くの皆様に厚くお礼申し上げます。今後とも、よろしくご支援をお願いし、お礼のご挨拶といたします。

静岡県障害者就労研究会代表 渡辺 明広

講義の趣旨

齊藤 望

はじめに

静岡県障害者就労研究会（以下、本研究会）は、知的障害特別支援学校の卒業生の就労の拡大・継続と生活支援の研究活動を行っており、就労を支えるためには、余暇の充実や生涯学習が重要であると考えている。つまり、知的障害者にとっても、学び続ける機会があることは、社会参加の機会と幅が広がり、人生をより豊かにすることができると考えているのである。具体的には、自然界の現象や社会における出来事、さらには専門分野の講義を聴くことを中心に学びを進め、深めることも可能であると思われるのだが、これまではこうした種の学習の機会が、成人の知的障害者には用意されていなかった。

しかし近年、障害のある人への学校教育以外の教育的取り組みは、「生涯学習」という枠組みではないものの、さまざまな実践が展開されるようになった。静岡県内では、2005（平成17）年から、本研究会が、静岡市及び周辺の青年学級等の人たちに呼びかけ、科学と地理、外国文化等についてのテーマの講義を聴く講演会を開催している。毎回、知的障害のある社会人が40～50名、学習支援者として20数名の学生と一緒に受講し、学びことができる講座を目指している。

静岡のスタイル

静岡での講座を開催するにあたって、本研究会に実行委員会を設置した。そして、先進的な取り組みをしている講座を見学させていただいたり、文献による調査をしたりしながら、静岡ならではのものを作りたいと考え、以下の二点を大切にしていこうとした。

（1）主体的な学びに

「こうすることが望ましい」といったことを教える授業ではなく、参加者が「こんなことを学びたい」と思う事項を題材としたい。また、体験活動のみで「面白かった。楽しかった」というような、単なる遊び感覚にならぬよう、「知的好奇心をくすぐりつつ、難しいことを分かりやすく、自分たちなりに考える場を設けた」講義を目指したいと考えた。

そこで、参加者の希望から講義内容を決めた。至極当然のことではあるが、要望に適した講師を探すことは、なかなか容易ではなかった。幸い多くの方々から「こんな先生がいらっしゃるよ」と情報提供していただくことができ、非常にありがたかった。

その後、本講座の趣旨を理解していただいた上で様々な環境設定するために、講師の先生方と何回か打ち合わせをさせていただいた。その中で、視覚や聴覚にうったえる教材を用意することや実験等の体験活動の導入、ワークシートへの記入及び小グループによる話し合いの時間（スモールワーク）の確保といった展開が有効ではないかと考えた。受講生の学びの様子や感想、アンケートの結果から見ると、こうした環境設定が魅力ある講義につながったと思われる。

（2）ユニバーサルな学びに

講義の中で、課題解決に向けて意見交換をすることにより、お互いがお互いを理解したり、共に学ぶことができて良かったという充実感や達成感を持ったりすることは、非常に意義深い。しかし、他地域でも障害のある人と障害のない人が一緒に学ぶことができるよう努力しているが、実現している所は少ないようである。

そこで、本講座では静岡大学教育学部特別支援教育講座の学生に、学びのパートナーとして共に講義に参加し、必要最低限の支援のみしてもらおうよう依頼した。（基本的には参加者本人の自

主性に任せ、参加者が困っていたり参加者に質問されたりした時のみ支援する。)

お互いが、普段接したことのない人との共同作業であったが、学生諸君が学習活動を通して参加者の意見を引き出してくれる場面が多くみられた。また、感想文から参加者のひたむきな態度が、学生には響くものがあったこともうかがうことができ、「共に学ぶ」という目的に近づくことができたと考えている。

【実施要項】

○第14回実施分

＜講座名＞ 第14回 学ぶって楽しい！—大学で学ぼう—

(平成24年度静岡大学公開セミナー)

＜期 日＞ 平成24年6月24日(日)

＜場 所＞ 静岡大学教育学部G棟104教室

＜対 象＞ 静岡市と周辺の地域の知的障害をもつ社会人

＜講師及び講義内容＞

大畑 智里 先生「アイスブレイク～学びのなかま～」

静岡大学教育学部附属特別支援学校教諭、学校心理士

大田 春外 先生「グラフの話～点と線でできた図形を数学的に考えよう～」

静岡大学教育学部教授

勝又 勇紀 さん「ロンドンオリンピック開幕！～イギリスへの旅」

(株)株式会社JTB中部 営業第二課長

○第15回実施分

＜講座名＞ 第15回 学ぶって楽しい！—大学で学ぼう—

(平成24年度静岡大学公開セミナー)

＜期 日＞ 平成24年10月21日(日)

＜場 所＞ 静岡大学教育学部大学会館3Fホール

＜対 象＞ 静岡市と周辺の地域の知的障害をもつ社会人

＜講師及び講義内容＞

大畑 智里 先生「アイスブレイク～学びのなかま～」

静岡大学教育学部附属特別支援学校教諭、学校心理士

佐藤 陽子 さん、上鶴 りさ さん「お顔のケアで印象アップ！～素敵な大人をめざそう～」

資生堂販売(株)中部支社静岡オフィス

大石 景子 さん、勝山枝里子 さん

STACK hair design

山崎 朱音 先生「ダンスで交流してみよう！—ダンスはみんなの共通語」

静岡大学教育学部助教

特別な支援を必要とする人の生涯学習の構築に向けて

静岡県障害者就労研究会副代表 村松智恵子

はじめに

平成23年12月に静岡県生涯学習審議会から、第7期静岡県生涯学習審議会答申「支えあい、ともに生き、ともに学ぶ生涯学習社会の構築に向けて—特別な支援を必要とする人の視点に立って—」が出された。この答申を踏まえ特別な支援を必要とする人や共生社会の構築に向けて、改めて静岡大学公開セミナー「学ぶって楽しい！—大学で学ぼう—」の意味や価値を考えたい。

1 答申のキーワード

静岡県が目指す生涯学習社会は、「県民一人一人が、「有徳の人」を目指して、生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習するとともに、その成果を生かしてよりよい社会づくりに参画し、行動する社会」と捉え、その実現に当たっては、共生社会の理念に基づいて、特別な支援を必要とする人たちが地域社会に受け入れられるとともに、地域社会の人たちが、お互いに学び合い、支え合う県民総がかりの取組を求めている。

答申のキーワードは、「縦の接続」、「横の連携」、「つなぐ」、「顔の見える」関係づくり、「活動を通じて学ぶ」にある。

乳幼児期・少年期・青年期・成人期と生涯にわたる継続的な学習や活動の推進を「縦の接続」と位置付け、また、家庭・学校・地域社会など関係する人々や関係機関・団体の幅広い連携の推進を「横の連携」とし、実践に当たっては、人と人を「つなぐ」、関係する機関を「つなぐ」、支援を「つなぐ」というように、「つなぐ」をキーワードにしている。

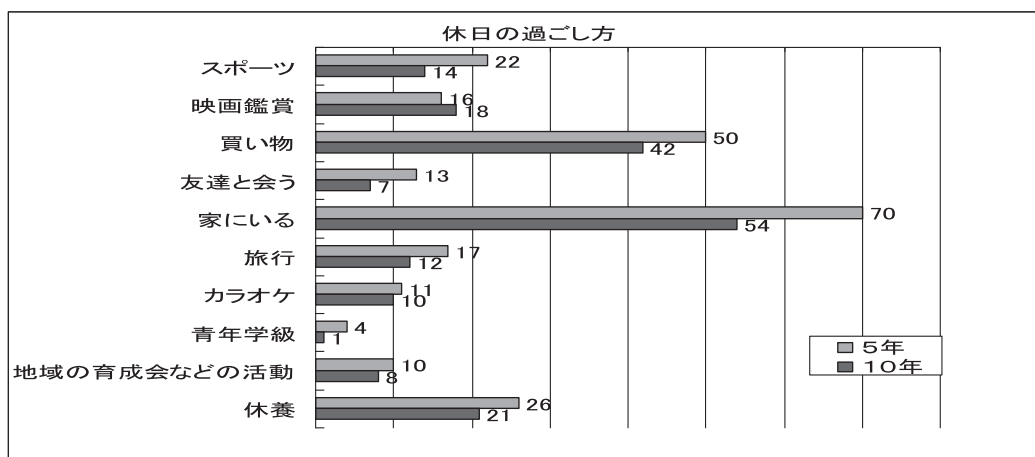
また、平成21年度人権問題に関する県民意識調査結果から障害のある人をめぐる人権上の問題点は、「障害のある人に対して社会の中に偏見や差別意識があること」の認識の下、特別な支援が必要な人をめぐる現状や課題に対し、「顔の見える」関係づくりや互いに「活動を通じて学ぶ」重要性が示されている。先ず、障害者を正しく知ることにつなげたい。

2 成人期の生涯学習

「縦の継続」の視点からみると、乳幼児期・少年期・青年期は、放課後や長期休業中の学びの場が少ない課題がある。県では、障害者スポーツを振興したり、静岡県障害者芸術祭を開催したりして障害のある人の社会参加の促進を図っているが、成人期に至っては、生涯学習環境の状況は充分把握できていないことがうかがえる。職場以外での地域の居場所そのものがほとんどなく、また、保護者が「親の会」等に所属していなかったり、就労して福祉の場から離れてしまったりしていると、様々な情報を得ることすら難しくなる。

3 静岡県障害者就労研究会の活動から見えること

静岡県障害者就労研究会では、知的障害の特別支援学校高等部卒業後5年目、10年目の人たちにアンケート調査を実施している。生涯学習に関係する内容に休日の過ごし方がある。アンケート結果も答申と同様、生涯学習に関連する①スポーツ、⑧青年学級、⑨地域や育成会などの活動は低い数値である。青年学級は、県内でも限られた地域にしかない。数値の高い③買い物、⑤家にはいるは、ほとんど家族との活動で、家族以外の人との活動の乏しさがうかがえる。



答申では、地域での「顔の見える」関係づくりが示されているが、地域の育成会などが軸になり、青年学級や本人部会等の充実を期待したい。また、地域の祭典や防災訓練等がよりユニバーサルに企画され、「顔の見える」関係づくりに期待する。本研究会も、静岡大学公開セミナーと同様な学びの場を県西部地域においての開催を準備中である。

また毎年2月に開催している障害者就労フォーラムでは本人部会の分科会を設け、仕事の様子や休みの日の過ごし方の情報交換や静岡大学公開セミナーで学びたいことを話し合っている。

- ・青年学級に行っています。トレーニングジムに行っています。
- ・食品関係の会社で働いています。保健所の講習会にも参加しました。異物の混入や賞味期限の確認に気を遣っています。
- ・老人施設で、ノロウィルスやインフルエンザに気を付けています。ヘルパー2級を取得しました。任せてもらえる仕事が増えました。
- ・車でドライブ。オートバイでツーリング。免許取得は学科が難しかった。

このような発言から、仕事に責任と誇りを持ち、仕事や余暇の質の向上を目指し資格取得にも挑戦している様子がうかがえる。公開セミナーについても、時事問題から生活一般、テレビや新聞からのニュース、過去の体験等から以下のような学びたい内容が湧き出てくる。

- ・中国の排気ガス ・TTP問題 ・東京オリンピック ・体罰問題 ・消費者問題
- ・地震や津波がきたら街がどうなるか ・コンビニエンスストアについて ・歌やダンス
- ・吹奏楽の仕組み。どうやって音が出るか ・北極や南極の生き物 等々

実は、彼らの学びの欲求は私たちの想像をはるかに超えることを教えてくれる。

まとめ

静岡大学公開セミナー「学ぶって楽しい！－大学で学ぼう－」は、答申の「縦の接続」で一番弱い成人期の生涯学習を担っている。学生さん、特別な支援を必要とする社会人の皆さん、教授を始めとする講師の方々、ボランティアの皆さんが、「顔の見える」関係の中で、「活動を通じて」障害理解（自己理解・他者理解）を図り、共に学び合い、高まり合っている。この価値や意味を認識し、今後は、成人期の生涯学習の充実のために、この実践をさらに新たな場や人に「つなぐ」取組が参加者一人一人に期待されていると考える。障害者の権利に関する条約の批准の準備がされている今、共生社会の構築につながる本セミナーのさらなる発展、充実を願う。

【報告】 静岡大学公開セミナー「学ばって楽しい！—大学で学ぼう—」 学会での発表

渡辺 明広

2012年は前年に引き続き、日本特殊教育学会における自主シンポジウムの企画者からの要請を受けて、静岡大学公開セミナー「学ばって楽しい！—大学で学ぼう—」の取り組みを報告（口頭発表）し、討議に参加した。

□ 日本特殊教育学会第50回大会 自主シンポジウム41「知的障害者の生涯発達と生涯学習保障8」

開催日：2012年9月29日（土） 会場：つくば国際会議場会議室401

企画者：松矢 勝宏（目白大学）、平井威（明星大学）

話題提供者：平井 威、牧野 誠一（札幌学院大学）、渡辺 明広（静岡大学）

指定討論者：小林 繁（明治大学）

参加者：30余名

【企画趣旨】

本シンポジウムは、2004年大会より継続的に開催し、各地で展開されている大学を活用した知的障害者の生涯学習の取り組みについて情報を共有し、知的障害者の生涯発達支援に関する理論と実践の前進に寄与すべく学際的な研究を積み上げてきた。これまでの到達点としては、講座内容・講座展開・学習評価・運営スタイルなどのノウハウが蓄積されてきたこと、その中で生涯学習の目的に照らして「働くことと学ぶこととの結合、学んだことを生活に生かす、一緒に学び共に生きる」という学びを作り出してきたことが指摘された。各地の取り組みは、その共通性と共にそれぞれ独自の特色ある講座展開がなされていることが明らかになり、大学ならではの良さを生かした「知を愛する知的障害者」と大学人、学生、市民が共に学びあうことの意義を確認しあうことができた。

今回は、オープンカレッジなどに関わる知的障害者、大学人、学生、教師などすべての人々にとって、生涯学習とは何か、これまでの全国の取り組みの成果から改めて考え合う場にしたい。

話題提供では、はじめに平井氏から、これまでの論点を整理しつつオープンカレッジなどが切り開いてきた知的障害者の生涯発達に関するいくつかの知見を述べる。

牧野氏からは、北海道におけるオープンカレッジ運動の特徴について設立の経緯、運営方法、受講者の特徴、講師・スタッフ、学習内容などについて報告していただく。

渡辺氏からは、昨年の報告を踏まえながらさらに深める立場から主に学びの成果と発展を確かめる方法論、当事者と学生との“ユニバーサルな学び”とはどのようなことなのかなどを問題提起していただく。

小林繁氏には、現代生涯学習論・社会教育論の到達点からみた知的障害者の生涯学習支援の位置づけと意義を示しつつ、3つの話題提供にコミットした討論を期待している。（松矢）

【話題提供】

- (1) 生涯学習機会の確保とそのための合理的配慮について（明星大学 平井 威）
- (2) 北海道でのオープンカレッジの取り組み 「受講者の立場から意味を再考」（札幌学院大学 牧野 誠一）
- (3) 静大公開セミナー「学ばって楽しい！—大学で学ぼう—」（静岡大学 渡辺 明広）—全文を次ページに記載

【指定討論】

社会教育の視点から見たオープンカレッジ（明治大学 小林 繁）

日本特殊教育学会 第50回大会（2012つくば大会）発表論文集 2012.9.28～9.30

知的障害者の生涯発達と生涯学習保障 8

日本特殊教育学会第50回大会 自主シンポジウム41

**【話題提供】静岡大学公開セミナー「学ぶって楽しい！－大学で学ぼう－」
－学びの成果や講義の検証、“ユニバーサルな学び”の追究－**

静岡大学大学院教育学研究科 渡辺 明広

【趣旨、企画】 2005（平成17）年10月に、知的障害養護学校（現在は特別支援学校）の生徒の進路指導と卒業後の就労支援についての研究活動を行っている静岡県障害者就労研究会（県下の特別支援学校の教員を主とした自主的な研究・研修団体で、正会員数は50名）が、静岡市及び周辺の3か所の青年学級の人たちに呼びかけ、科学と地理、外国文化についての講演会を開催した。就労を支えるためには、余暇の充実や生涯学習が重要であり、学び続ける機会があることは社会参加と人生を豊かにすることができると考えられた。2006年度からは静岡大学生涯学習教育研究センター（現在は地域連携部門静岡大学イノベーション社会連携推進機構 地域連携生涯学習部門）が主催し、静岡県障害者就労研究会が企画する公開セミナーとして6月と10月の年2回開催している。2012年6月までに14回開催した。参加費は無料、材料費がある時は実費徴収する。

【受講者】 養護学校等を卒業した知的障害のある社会人で、各地域の青年学級に所属する人達がほとんどである。2005年の当初は40人程度であったが、最近では60人を超える人たちが参加している。リピーターも多い。他に、“学びのパートナー”として、社会人への学習支援のために学生（特別支援教育専攻生）が毎回30名程度、一緒に講義を聴講し、必要に応じて、学習支援を行う。学生は、当日の受付係、構内案内係、司会・進行係などの運営にも加わる。

【コンセプト】 このセミナーのコンセプトは、①主体的な学びのために、受講者たちの希望をもとに、講座内容と講師を選定している、②受講の社会人と“学びのパートナー”である学生が共に講義を聞き、スモールワーク（演習）を一緒に行うことで、“ユニバーサルな”学びを追究することを目指している、ことである。

【講座内容と講師】 これまで14回実施した講義の内容は、宇宙や電気、地震などを中心とした科学、美術を中心とした外国文化や海外旅行の情報、サッカーのワールド・カップ、テレビCMの話、コンビニ情報、現代ファッション事情、郷土史、倫理学、消費生活や食文化についての家政学、国際交流とバラエティーに富む。ヒップホップや描画（美術）といった実技が中心の授業もあった。講師は大学や特別支援学校の教員だけでなく、観光、コンビニ、ファッション、広告の各会社社員など多士済済である。

【講座展開】 毎回、日曜の午前中の3時間。6人ずつ座ったテーブルごとの受講者の自己紹介から始まって、まずはアイスブレイク（20分）で社会人と学生の“学びのパートナー”間の意思疎通を図る。その後、60分の講義（10分程度のスモールワーク〈小演習〉を含む）が2つある。講義の合間に、“みんなで歌いましょう”（5分）があって、講義終了後は、社会人一人ひとりに受講証が授与される。

* * *

【学びの成果や講義の検証】

・（受講者の授業後アンケート） 毎回、各講義・演習後に所定のアンケート用紙で、講義を受けて「わかりやすかった？むづかしかったか？」（印象度）と「楽しかったか（おもしろかったか）？つまらなかったか？」（満足度）についての調査を行っている。これまで、どの講義も、回答の大多数が「わかりやすかった」「楽しかった（おもしろかった）」と大変好評である。

（“学びのパートナー”の講座後アンケート） 毎回、講座後に“学びのパートナー”の学生を対象に、「「学ぶって楽しい！－大学で学ぼう－」に参加して」のアンケートを行っている。「Q1. あなたから見て、知的障がいのある人達は講義を聞いたり、実技をしたりして、全体としては、興味や関心が持てたと思いますか？」は学習参加の意欲や態度の評価である。毎回の回答は5段階評定の「4 かなり持てた」が多い。講義で扱われた知識についての理解度や技能の習得度の検証は行われていない。

・ 毎回の受講者の中にリピーターが多いことは、本講座に対する満足度が高いことによると考えられる。また、本講座による学びの成果の検証は、受講者のふだんの生活や青年学級での活動との関連において行うことが必要と考える。青年学級の支援者によれば、リピーター達は、本講座に参加することを楽しみにしているとともに、参加する自分に「誇り」や「自負」を持っていることを感じさせる、という。また、最近の青年学級の活動に、本人達の希望を受け入れ、学校の教科の内容（「科学」「脳トレ（国・数の内容）」）を加えていることが伝えられている。

【“ユニバーサルな学び”の追究】

（“学びのパートナー”の講座後アンケート）「Q2. あなた自身は講義を聞いたり、実技をしたりして、全体としては興味や関心が持てましたか？」に対して、5段階評定の「5 大変もてた」「4 かなりもてた」と答える者が毎回、きわめて多い。また、「Q3. あなたは、受講した人達が知的障がいのある、なしにかかわらず、講義・実技中のスモールワークに全体としては、一緒に取り組めたと思いますか？」についても、「5 大変取り組めた」「4 かなり取り組めた」の肯定的な評定が圧倒的に多い。これらの結果については、各講師が講座の趣旨を理解されて、講義で取り上げる内容の精選や工夫がなされていること、講義中に“学びのパートナー”と一緒に課題に取り組みスモールワークが設定されていることによって、“ユニバーサルな学び”を創造していると考えられる。今後は、さらに深まりのある学習内容やワークにおけるかわり合いを求めていきたい。

（文献） ・松矢勝宏監修、養護学校進路指導研究会 大学で学ぶ知的障害者－大学公開講座の試み 大揚社 2004 177ページ
・オープンカレッジ東京運営委員会 知的障害者の生涯学習支援～いっしょに学び、ともに生きる～ 東京都社会福祉協議会 2010 127ページ
・静岡大学生涯学習教育研究センター 学ぶって楽しい！－大学で学ぼう－ 学びの内容とその支援 2010静岡大学公開セミナー報告集通巻第7号 2011 89ページ
・建部久美子編著 知的障害者と生涯学習の保障－オープンカレッジの成立と展開 明石書店 2001 172ページ

【講義・演習】

アイスブレイク～学びのなかま～

大畑 智里

2012・6・24 学ばって楽しい！ 「アイスブレイク～学びのなかま～」

ワンポイント心理学 (しんりがく)

静岡大学教育学部附属特別支援学校 大畑智里

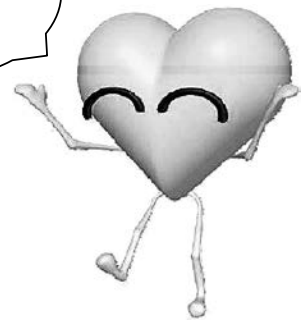
アイスブレイクの時間は ウォーミングアップ

… つまり 準備運動です。

運動する前に 体操をしておくように

この時間で 頭や心や体を ほぐしておきましょう。

カチンカチンの
“ころ”を
とかそう！



そして 今日 一緒に学ぶ “なかま”との 出合いを大切に！

講義で もっと楽しく学ぶために 準備をしましょう！

ワンポイント 心理学



話し上手・聞き上手

お互いの
リズムあわせて
楽しい会話

友達を もっとたくさん作るために
「話し上手になりたい」と 思っていますか？



でも 本当はその逆…。
人は「誰かに話を聞いてほしい」生き物なのです。

話し上手：話すスピードを 考えよう。
聞き上手：「はひふへほ」で 相づち上手になろう。

ひと かいわ
人との 会話には

リズムが 大切です。

はな じょうず
話し上手にも

き じょうず
聞き上手にも なれるよう

じぶん かいわ とくちょう
自分の 会話の特徴を

し だいじ
知ることが 大事です。

アイスブレイク

 **手をたたこう** ... ざあ、気持ちがあうかな？

リーダーのあげた手の数にしたがって
みんなで 気持ちを合わせて手拍子をしましょう！

レディーゴー リーダーが手をあげます(数えます)

せへの

あげられた手の数の分だけ 拍手



ワンポイント 心理学

 **アサーション** ... 1950年代のアメリカで発祥

相手のことをわかり 思いやりながら
素直に自分の気持ちを伝えることが大切

3つのコミュニケーションのタイプ

①「アグレッシブ」 自分のことだけを考える人 

②「ノンアサーティブ」 相手に合わせて がまんする人 

③「アサーティブ」 自分の伝えたいことを 伝えながら
相手の気持ちも考える人 

コミュニケーションは 私と あなたと みんなで行うものです。

どちらかが良いだけでは 何も伝わりません。

ワンポイント 心理学

 **アサーション**



私に 素直に
「こうしなければいけない」と
考えこまないことが 大切です。

私を 大切に
気持ちをごまかすことは
自分にも友達にも
ウソをつくことになります。

私もあなたも おんなじに
どちらかが 上とか下とか
強いとか弱いとか
友達同士には ありません。

あなたも 私も
みんな 大事な人。
違って
良いのです。

人は みんな違って
いるから

楽しいし 面白いです。

けれど 違って
いるから

コミュニケーションも

難しいです。

お互いを 大切に

すてきな友達になら
ましょう。

きょう いっしょ
今日も 一緒に がんばりましょ
う。

2012・10・21 学ばって楽しい！ 「アイスブレイク～学びのなかま～」

ワンポイント心理学 (しんりがく)

静岡大学教育学部附属特別支援学校 大畑智里

アイスブレイクの時間は ウォーミングアップ

… つまり 準備運動です。

運動する前に 体操をしておくように

この時間で 頭や心や体を ほぐしておきましょう。

カチンカチンの
“ころ”を
とかそう！



そして 今日 一緒に学ぶ “なかま”との 出合いを大切に！

講義で もっと楽しく学ぶために 準備をしましょう！

ワンポイント 心理学

緊張～対人不安～

肩の力をぬいて
気楽にいきましょう。

初対面の人や 大勢の人の前で 話すと
緊張する。自分は「人見知り」をする。

どう 思わ
れるかな

失敗は
はずかしい

きっと
自分はダメ

対人不安：相手の反応をこわがる心の動き

- 元気にあいさつ 話すよりも聞くこと。
- 自信を持って 失敗を気にしないこと。

人はだれでも 緊張する
ものです。それは
対人不安といって 自分が
どう見られているかを
こわがる気持ちです。
自分に 自信を持って
笑顔で すごしましょう。

アイスブレイク



信号リレー ～パチン&インパルス～

さあ、
ドキドキ

信号を となりの人 に おくっていきますよう。
だんだん早く リズミカルに できるかな？

- ① スタートの人と ゴールの人を決めます。
- ② 信号おくり開始！
・拍手 ・肩 ・握手 など
- ③ ゴールの人は 信号がきたら 手をあげて 合図。



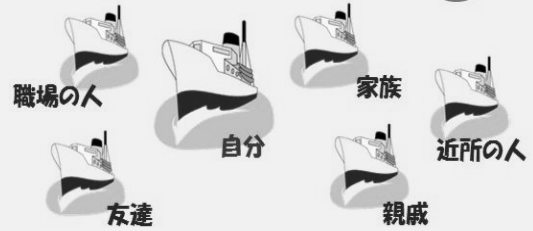
…だんだんグループを大きくしましょう。

ワンポイント 心理学



コンボイ(護送船団)・モデル

対人関係
ネットワークモデル



自分の周りには たくさんの方がいることを 知る。
人は 様々な人とつながってこそ 生きていく。

自分の 目と耳と心で 相手の動きを

じっくり感じていきましょう。

この絵の 船のように 人は

たくさんの方と 一緒に 生きています。

ワンポイント 心理学



ソーシャル・サポート

自分にとって 質の
良い サポートを
受けること

人とのつながりが たくさんあると 長生きする！！

つながり = ソーシャルネットワーク

支 え = ソーシャルサポート

- ① 情緒的サポート
- ② 道具的サポート

幸せ(しあわせ)

しあわ
幸せは
お金じゃ買えない

けんこう
健康であること
よい友達が
家族がなかよくくらすこと

お互いに 支え合うことが

とても 大切です。

げんき からだ
元気な体と

だいじ ともだち かぞく
大事な友達と 家族を

ささ
支えていくことが

しあわ ひけつ
幸せの秘訣です！

きょう いっしょ
今日も 一緒に がんばりましょう。

【演習のまとめ】

「アイスブレイク ～学びのなかま～」

演習の設定にあたって

本講座では受講生だけでなく、学びのパートナーである大学生が多数参加している。講座の当日、参加者である受講生と学びのパートナーは初めて出会い、共に講義を受け、活動するということは誰しも非常に緊張度の高いものである。そこで、この演習を講義前に設定することで、受講生同士、または受講生とパートナーの間に良好な関係が早くに築かれ、その後の講義での積極的な学びにより良い効果が期待されるであろうと考えている。

＜重視した点＞

- ①受講生同士、受講生と学びのパートナーの関係づくりの基礎になるように、活動的なエクササイズを取り入れること。
- ②日々の対人関係に悩みも多い受講生にむけて、人間関係づくりの基礎となるような心理学的な知識を学ぶ機会とすること。
- ③スライドや資料などの視覚的な教材を取り入れ、理解の促進と定着を図ること。

【演習1（6月）の内容】

○ アイスブレイク エクササイズ「手をたたこう」

講座の冒頭、参加者同士の関係づくりのためにアイスブレイクを行う。今回は話し上手と聞き上手の仕組みについて話しながら、「手をたたこう」というエクササイズを行った。より良い会話（コミュニケーション）の基本は、話す方も聞く方もリズムを合わせてお互いを尊重することがである。エクササイズでは、会場の前方に立つリーダーがランダムに手をあげていく。4人のリーダーがあげた手の数の分、参加者がリズムよく手拍子を打っていくものである。リーダー4人全員が両手を一斉にあげれば8回の手拍子が聞こえてくることになる。瞬時にあげられた手の数を数え、“せーの！”の掛け声に合わせて手拍子をする则会場中が一つになったような雰囲気となった。きれいにそろえば歓声が、少しリズムが乱れれば楽しそうな笑い声が聞こえてきた。

○ ワンポイント心理学

アイスブレイクの後はアサーションについて話題にあげ、コミュニケーションの基礎について話をした。まず、人間のコミュニケーションのタイプには大きく3つのタイプがある。自分のことだけを考えるような“アグレッシブ”なタイプ、相手に合わせてがまんしてしまう“ノンアサーティブ”なタイプ、自分の伝えたいことも伝えながら相手の気持ちも考えられる“アサーティブ”なタイプである。もちろんこの3つ目の“アサーティブ”なタイプを意識してコミュニケーションをとれることが大切なことである。

人とかかわるということはとても難しいことではあるが、自分自身の人とのかかわり方、コミュニケーションの特徴を知り、自分も相手も尊重できる人になることが重要である。

○ 演習のまとめ

参加者の中には周囲の友人や職場の仲間などの人間関係に悩んでいる人も多いようである。自分も相手も大切にしながらコミュニケーションをとっていくことの大切さを、参加者たちも感じる事ができた。

【演習2（10月）の内容】

○ ワンポイント心理学

人は誰でも緊張をするものである。人とかかわるときに、相手の反応を怖がる心の動きを「対人不安」という。「相手にどう思われるんだろう。」「失敗することが恥ずかしい。」「きっと自分はダメだろう。」などと思わずに、前向きに人とかかわることの大切さにふれた。

心の中の「対人不安」を吹き飛ばすためには、元気にあいさつをすること、話すことよりも聞くことを重視すること、自信を持って失敗を気にしないことなどである。

○ アイスブレイク エクササイズ「信号リレー」

本講座のように初めて出会った人たちと半日の時間を過ごすことは、とても緊張するものである。まずは「信号リレー」を行いながら、リラックスした雰囲気と温かなかわり合いを見出した。

輪になった参加者たちは、拍手や肩を握る、手を握るなどの指定された信号を黙って隣の人に送っていく。言葉ではないコミュニケーションを送りながら、互いの存在を感じ取っていくものである。グループごと、信号が伝わる速さを競うことで、心をつなげて取り組むことができた。またグループの人数を徐々に増やしていくことで、会場全体が心と心で通じ合うようになっていき、しだいに笑顔があふれていった。

○ ワンポイント心理学

今回は「コンボイ（護送集団）・モデル」について触れながら「ソーシャルサポート」を受けて生活していくことについて触れた。

自分の周りには家族や友達、親戚や職場の人、近所の人など、非常に多くの人が存在している。そうした存在を自覚することによって、その支えを感じることができる。人は様々な人とつながってこそ、生活の充実を得られるものと考えている。人生にはこうした“つながり”や“支え”がとても大切であり、幸せはお金などでは買うことはできず、「健康であること」「よい友達がいること」「家族が仲良く暮らすこと」が幸せの証であることを知った。

○ 演習のまとめ

人間関係の基礎は自分の周りにどのような人たちがいて、どのような支えとなっているかを知ることである。普段では当たり前すぎて気がつかない身近な家族の存在もとても大切なことを、参加者も改めて感じる事ができたようである。

おわりに・・・

初めのうちは緊張していた受講生も、学びのパートナーもエクササイズを行ったり、ワンポイント心理学でコミュニケーションについて考えたりすることで、心の距離を近づけることができていった。しだいに会場から楽しそうな笑顔と温かな雰囲気があふれていったことが印象的である。今後も本講座のウォーミングアップの時間として、良好な学びとその後の活動がより円滑となるように進めていきたいと思う。

また、社会生活・職業生活を送る上では、多くの人とかわり合いながら生活をしていくものである。本演習ではそうした生活に役立つ知識にも触れながら、進めていきたいと考えている。



（大畑 智里）

【講義】

グラフの話～点と線でできた図形を数学的に考えよう～

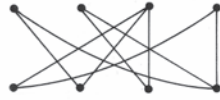
大田 春外

グラフのはなし

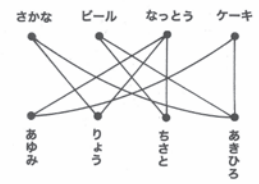
Graph Theory

てん せん ずけい
点と線でできた図形を
ずうがくてき
数学的にかんがえよう

大田春外（おおたはると）
静岡大学



A1



A2

A3

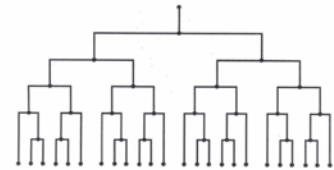


2部グラフ
(bipartite graph)

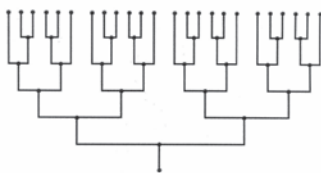
A4



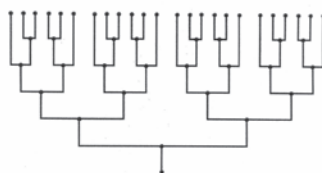
A5



A6



A7



木 (Tree)

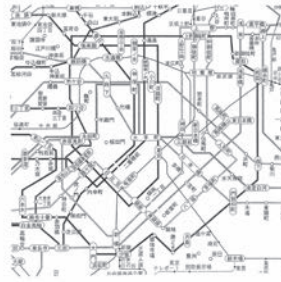
A8



A9



A10



A11

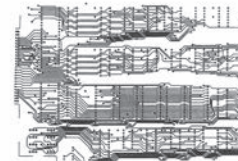
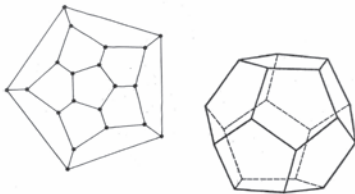


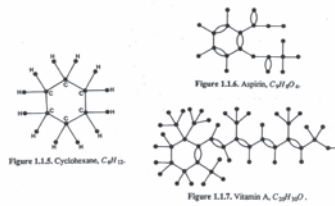
Figure 1.1.8. Portion of a printed circuit

A12



正12面体 (regular dodecahedron)

A13



A14

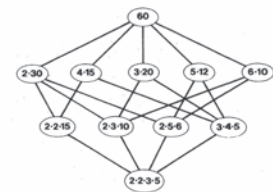
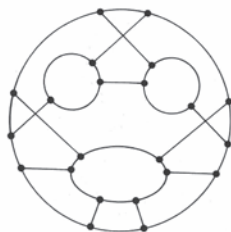


Figure 1.1.12. The factorizations of 60.

A15



A16

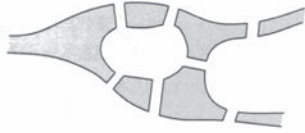


オイラー
Leonhard Euler
1707-1783

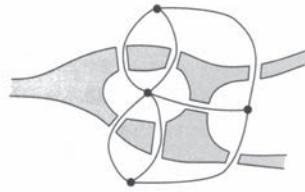
B1



B2



B3



B4

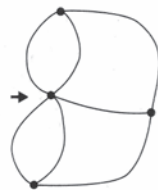


B5



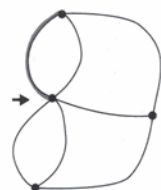
B6

ひとふでがき できるかな？



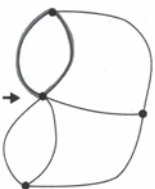
B7

ひとふでがき してみよう。



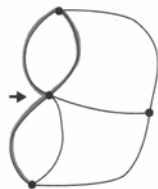
B8

ひとふでがき してみよう。



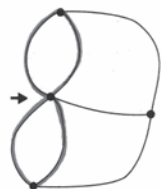
B9

ひとふでがき してみよう。



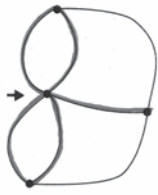
B10

ひとふでがき してみよう。



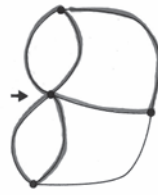
B11

ひとふでがき してみよう。



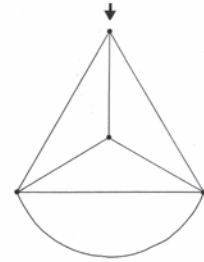
B12

ひとふでがき してみよう.

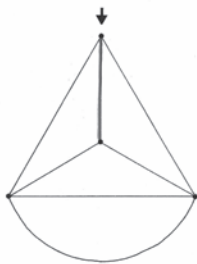


B13

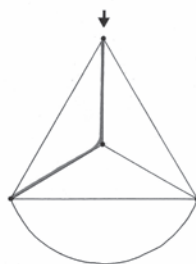
できない！



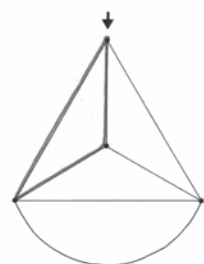
B14



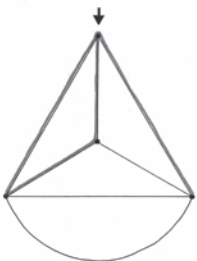
B15



B16



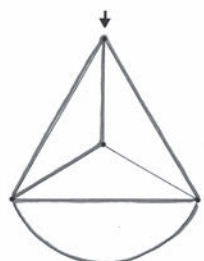
B17



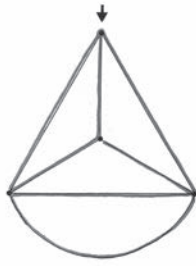
B18



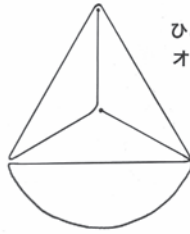
B19



B20



B21



ひとふでがき できる！
オイラーパスをもつ！
Euler path

B22

【講義のまとめ】

「グラフの話～点と線でできた図形を数学的に考えよう～」

講義を設定するにあたって

「大学で学ぼう」のテーマを受講生と話し合う中で、難しいと思われている大学の授業を実際に受講してみたいという希望があがってきた。とりわけ難しい学問の代名詞ともされる「数学」をテーマに選び、日常生活にどのように関わりがあるのか考えながら、知的好奇心を刺激する難問に挑戦したいというという声に応える形で講義の設定を行った。

今回は、受講生の特性を理解し、静岡大学教育学部附属特別支援学校で校長を務められた経験のある静岡大学の教育学部の先生に講師を依頼した。数学の専門的な話を日常生活に結びつけながら講義を頂くことで、知的好奇心を高め、学びの楽しさや大切さを実感する機会としたいと考えた。

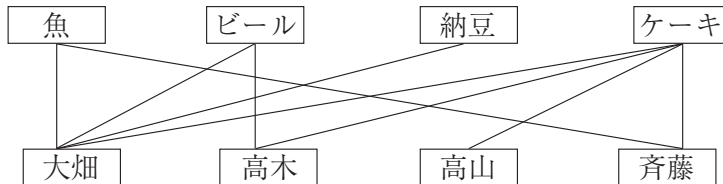
＜重視した点＞

- ①講師が受講生の特性を理解した、大学の専門的な研究者であること。
- ②参加者に内容を分かりやすく伝えるために、視覚的教材を活用すること。
- ③話を聞くだけでなく、日常生活に関連させたり、実際に活動したりすることで理解を促す。

講義の内容

①好きな食べものを線で結ぼう

- ・魚、ビール、納豆、ケーキの中から好きなものを選んで、好きなものと名前を線で結ぶ。



⇒グラフとはいくつかの点を線で結ぶことである。

②じゃんけん大会のグラフ

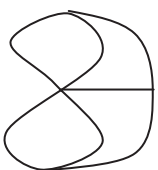
- ・トーナメント表を使って、じゃんけんの優勝者を決める。⇒トーナメント表もグラフの一種である。

③いろいろなグラフ

- ・2部グラフとは、一周して戻ってくる道（＝サイクル）があるグラフ。トーナメント表にはサイクルがない。
- ・他に…道路地図、路線図、地下鉄の地図、電気回路の基盤、正12面体、ビタミンAの化学式、数字を素因数分解した図等もグラフの一種である。

④一筆書きできるかな？

- ・オイラー：300年前の数学者（スイス）



全ての道を1回ずつ通ることはできるかな？

⇒一筆書きできない！

⇒一筆書きするためには道がもう1本必要である＝オイラーパス(オイラーの道)

- ・2つの図形の一筆書きに挑戦する。

⑤オイラーの定理

☆次数が奇数である頂点の個数が2個以下のグラフは一筆書きできる。反対に、次数が奇数である頂点の個数が2個より多いグラフは一筆書きできない。

※図形の頂点につながっている辺の本数をその頂点の次数と呼ぶ。

スモールワークの様子（アンケートの記述から—原文のまま）

[卒業生・社会人・学びのパートナー]

<内容についての感想>

- ・楽しかった。とってもいいです。
- ・数学は得意じゃないほうです。でも楽しかったです。
- ・また勉強したいです。
- ・また参加したいです。
- ・ジャンケン大会がおもしろかった。いろいろなグラフがあることがわかりました。
- ・数学は難しい。グラフはわかりにくい。なんて思っていたけど、楽しみながら学べてよかった。
- ・知らなかったことが知れてよかった。なるほどと思った。
- ・グラフの不思議なことがたくさん分かりました。学生の頃にこうやって学べたらよかった。

<講義の形式について>

- ・難しかったがとてもわかりやすかった。
- ・大田先生の講義は少し難しかったけれど、周りの人と協力してできました。
- ・グラフのことがわかってきたのでよかったです。難しいところもありました。
- ・グラフの一筆書きが大変だったけど、分かりやすく楽しかったです。
- ・線で書くのが難しかったです。でも。大学の人達とできるようになってよかったです。
- ・ジャンケン大会と食べ物のグラフが一番面白かった。来年は違う内容にして下さい。
- ・オイラーの定理、勉強になりました。
- ・一筆書きが非常におもしろかったです。できるとスッキリします。
- ・一筆書きがとても頭を使ったので楽しかったです。ありがとうございました。
- ・一筆書きのコツがわかってよかったです。
- ・一筆書きが難しかったけど、できたときは嬉しかったです。
- ・一筆書きのコツが奇数から始めて奇数で終わるということがわかっておもしろかった。
- ・最後の一筆書きの答えが本当に分からないので答えを教えてください。
- ・このグラフは奇数から始めても一筆書きができませんよね？

講義を聴いて

- ・グループごとに好きな食べものを線で結んだりじゃんけん大会をしたりして、受講生同士でお互いにかかわり合って活動をするのができた。
- ・いろいろなグラフの紹介を聞いて、自分の身の回りにもグラフがあることが分かった。
- ・一筆書きの活動では真剣に取り組み、受講者同士で話し合う姿が見られた。また、声をあげてできた時の喜びや達成感を味わうことができた。
- ・受講者同士でかかわり合うグループ活動やゲーム感覚で楽しめる一筆書きの演習があり、受講者にとって楽しく活動しながら知識を学ぶことができる講義になった。

（長倉結梨亜）

【講義】

ロンドンオリンピック開幕！～イギリスへの旅

勝又 勇紀

JTB




ロンドンオリンピック開幕！イギリスへの旅




JTB中部 静岡支店

JTB

まず海外旅行に出掛けるために・・

- ・パスポートの準備

★申請から交付までの流れ★

 1. 必要書類を揃えて、現住所の都道府県旅券課窓口へ申請し、受領書をもとに、
 2. 申請から約1週間～10日後、交付日が記されたハガキが届く。
 3. 手数料分の印紙を買う。
 4. 指定された日に、受領書・送られてきたハガキ・印紙・印紙を持って、必ず本人が旅券課窓口に行く。
 5. 係員からパスポートを受取る

パスポートは海外では命の次に大事と言われるので肌身離さず持っている必要があります
- ・外貨準備

イギリスでは日本の貨幣は使用できないため、イギリス通貨【ポンド】に両替が必要です。
 1ポンド＝約135円(2012年6/20現在)ですので、
 ワイン1本10ポンドと表記があるものは、日本円1,350円相当ということになります。
 日本では銀行や旅行会社で両替ができます。
- ・傷害旅行保険の加入

万が一イギリスにて病院にかかることがおきた場合、日本の保険証は利用できません。
 例えば転倒し、骨折してしまい20日間入院した場合でも600万かかってしまったというケースもあります。
 もしかか・病気になった場合のために、旅行保険に加入しておくことをおすすめします！
 こちらは旅行会社・保険会社にて加入できます。

JTB

入国手続について

イギリス入国手続きに必要な「入国カード」や「税関申請書」が機内で配られるので、必ず受け取り、その場で記入しておきましょう。

パスポート残存有効期限
 帰国時まで有効なパスポートが必要。旅行が決まったら必ず確認しておきましょう。

ビザの発給
 6カ月以内の観光は、ビザが不要です。ビザが必要な場合、駐日英国大使館ホームページの申請要項をよく確認して、所定の手続きを。

入国カードとは？
 パスポートとともに入国審査の際に必要となります。入国時に必ず提出しましょう。

空港税について
 ツアー料金には含まれていない場合が多いので注意しましょう。

JTB

フライト情報・航空券について

- ・航空会社、天候、乗り継ぎ有無などの条件により異なりますが、東京からロンドンまで約12時間半。主にヒースロー空港に到着します。
- ・直行便
 - ・日本からの直行便を持つ航空会社は4社。乗り継ぎがないので便利です。
 - ・アエロフロート・ロシア航空はモスクワ経由となり、約15時間の飛行時間。
- ・経由便
 - ・アジアなど各国の経由便は、時間はかかりますが、予算を節約したい人や、他の国にも立ち寄りたという方におすすめ。
- ・機内への持ち込み
 - ・原則として縦、横、高さの3辺の和が115cm 以内。テロ対策で厳しくなっているので、爪切り、カミソリなどは預け荷物へ。液体は100ml 以下の容器に移して透明な袋に入れましょう。

★航空券について
 航空券運賃には大きく分けて2種類【公示】と【格安】と呼ばれるチケットがあります。違いですが、【公示】は航空会社、【格安】は旅行会社が値決めをしています。名前を聞くと【格安】の方が安いかと思いますが、【公示】の方が安いこともあります。旅行会社ではどちらも販売しているのでぜひ相談して下さい。

JTB

クイズ①

イギリスの国旗はどれでしょう？

①


②


③


JTB

クイズ②

イギリスの正式国名は？

①イギリス共和国
 ②アイスランド
 ③グレートブリテン及び
 北部アイルランド連合王国



クイズ③

イギリス観光のシンボルロンドンバスは何階建て？

- ①2階
- ②3階
- ③4階

クイズ④

イギリス観光のシンボル ビック・ベンは何の愛称？

- ①時計台部分
- ②時計台の鐘
- ③建物全て



クイズ⑤

ウェストミンスター寺院で2011年行われた行事とは？

- ①オリンピック開催決定の祝賀会
- ②キャメロン首相の就任式
- ③ウィリアム王子とケイトさん結婚式



クイズ⑥

バッキンガム宮殿には国王・女王の在宅を知らせる印があります？その印とは？

- ①衛兵交代の有・無
- ②衛兵の帽子の色が変わる
- ③屋上の旗が変わる



見学地(ロンドン)

ロンドン市内観光

英国の首都ロンドンは長い歴史を持つ伝統的な都市で、市街の建築物がその重厚な歴史を物語ることが出来ます。緑の多いゆったりとした散策地を持つ公園が市内のあちこちに点在し、優雅なゴシック建築の教会や荘厳な宮殿が近代のビルとよく調和して調和を奏しています。反面、ファッションや音楽シーンでは時代の最先端を走っており、最新の流行はロンドンから次々と生み出されています。全盛期でも世界をリードするシティを抱え、歴史的な伝統とニュートレンドがバランスよく調和したエキサイティングで魅力溢れる大都市です。

2階建てバス



ロンドン名物は2階建てバス。旧型のルートマスターは観光地のみ走行。

国会議事堂



議会制度発祥の地イギリスの象徴。時計塔ビッグ・ベンも有名。

ウェストミンスター寺院



国王の戴冠式が行われる寺院。2011年4月29日、ウィリアム王子とケイトさんの結婚式が行われた。

バッキンガム宮殿



イギリスの女王、女王陛下の住まい。宮殿の庭上に王室旗が掲げられている際は女王または王が在宅。イギリス王室のシンボル。

衛兵交代式



4月から7月は毎日朝11時半にバッキンガム宮殿に到着。約4分程度の交代のセレモニーが実施。

ロンドンのみどころたっぷりなコース

コース	行程	備考
1 都立各地 ロンドン	出発。旅行便または自家用車でロンドンへ到着。ホテルへ。	(ロンドン内)
2 ロンドン	午前：ロンドン観光 セントポール大聖堂、ロンドン橋、タワーブリッジ、国会議事堂、パルティマン大聖堂 午後：大英博物館(入場)	(ロンドン内)
3 ロンドン	午前：ロンドン観光 セントポール大聖堂、ロンドン橋、タワーブリッジ、国会議事堂、パルティマン大聖堂 午後：大英博物館(入場)	(ロンドン内)
4 ロンドン	午前：ロンドン観光 セントポール大聖堂、ロンドン橋、タワーブリッジ、国会議事堂、パルティマン大聖堂 午後：大英博物館(入場)	(ロンドン内)
5 ロンドン	午前：ロンドン観光 セントポール大聖堂、ロンドン橋、タワーブリッジ、国会議事堂、パルティマン大聖堂 午後：大英博物館(入場)	(ロンドン内)
6 ロンドン	午前：ロンドン観光 セントポール大聖堂、ロンドン橋、タワーブリッジ、国会議事堂、パルティマン大聖堂 午後：大英博物館(入場)	(ロンドン内)
7 ロンドン	午前：ロンドン観光 セントポール大聖堂、ロンドン橋、タワーブリッジ、国会議事堂、パルティマン大聖堂 午後：大英博物館(入場)	(ロンドン内)
8 都立各地	出発。旅行便または自家用車でロンドンへ到着。ホテルへ。	(ロンドン内)

JTB

イベントカレンダー2012

1月 (January)
■ニューイヤー・デイズ(祝日)、ニューイヤー・パレード
■ロンドン・ウィンドウ・ディスプレイ

2月 (February)
■ロンドン・ウィンドウ・ディスプレイ

3月 (March)
■ロンドン・ウィンドウ・ディスプレイ

4月 (April)
■ロンドン・ウィンドウ・ディスプレイ

5月 (May)
■ロンドン・ウィンドウ・ディスプレイ

6月 (June)
■ロンドン・ウィンドウ・ディスプレイ

7月 (July)
■ロンドン・ウィンドウ・ディスプレイ

8月 (August)
■ロンドン・ウィンドウ・ディスプレイ

9月 (September)
■ロンドン・ウィンドウ・ディスプレイ

10月 (October)
■ロンドン・ウィンドウ・ディスプレイ

11月 (November)
■ロンドン・ウィンドウ・ディスプレイ

12月 (December)
■ロンドン・ウィンドウ・ディスプレイ

JTB

今年2012年の7～8月に行われる オリンピック開催地はロンドン！

JTB

ロンドンオリンピック(五輪)会場&関連スポット

1. センテラル・パーク	2. センテラル・パーク	3. センテラル・パーク	4. センテラル・パーク
5. センテラル・パーク	6. センテラル・パーク	7. センテラル・パーク	8. センテラル・パーク
9. センテラル・パーク	10. センテラル・パーク	11. センテラル・パーク	12. センテラル・パーク
13. センテラル・パーク	14. センテラル・パーク	15. センテラル・パーク	16. センテラル・パーク
17. センテラル・パーク	18. センテラル・パーク	19. センテラル・パーク	20. センテラル・パーク
21. センテラル・パーク	22. センテラル・パーク	23. センテラル・パーク	24. センテラル・パーク
25. センテラル・パーク	26. センテラル・パーク	27. センテラル・パーク	28. センテラル・パーク
29. センテラル・パーク	30. センテラル・パーク	31. センテラル・パーク	32. センテラル・パーク
33. センテラル・パーク	34. センテラル・パーク	35. センテラル・パーク	36. センテラル・パーク
37. センテラル・パーク	38. センテラル・パーク	39. センテラル・パーク	40. センテラル・パーク
41. センテラル・パーク	42. センテラル・パーク	43. センテラル・パーク	44. センテラル・パーク
45. センテラル・パーク	46. センテラル・パーク	47. センテラル・パーク	48. センテラル・パーク
49. センテラル・パーク	50. センテラル・パーク	51. センテラル・パーク	52. センテラル・パーク
53. センテラル・パーク	54. センテラル・パーク	55. センテラル・パーク	56. センテラル・パーク
57. センテラル・パーク	58. センテラル・パーク	59. センテラル・パーク	60. センテラル・パーク
61. センテラル・パーク	62. センテラル・パーク	63. センテラル・パーク	64. センテラル・パーク
65. センテラル・パーク	66. センテラル・パーク	67. センテラル・パーク	68. センテラル・パーク
69. センテラル・パーク	70. センテラル・パーク	71. センテラル・パーク	72. センテラル・パーク
73. センテラル・パーク	74. センテラル・パーク	75. センテラル・パーク	76. センテラル・パーク
77. センテラル・パーク	78. センテラル・パーク	79. センテラル・パーク	80. センテラル・パーク
81. センテラル・パーク	82. センテラル・パーク	83. センテラル・パーク	84. センテラル・パーク
85. センテラル・パーク	86. センテラル・パーク	87. センテラル・パーク	88. センテラル・パーク
89. センテラル・パーク	90. センテラル・パーク	91. センテラル・パーク	92. センテラル・パーク
93. センテラル・パーク	94. センテラル・パーク	95. センテラル・パーク	96. センテラル・パーク
97. センテラル・パーク	98. センテラル・パーク	99. センテラル・パーク	100. センテラル・パーク

JTB

イギリスのベストシーズンは まさにこれからの6月～8月です！

ロンドンオリンピックを応援しに ぜひお出掛けください！！

本日はご清聴ありがとうございました。

JTB中部 静岡支店 勝又 勇紀

2012 静岡大学公開セミナー 「学ばって楽しい！—大学で学ぼう—」

ロンドンオリンピック開幕！イギリスへの旅

講師 勝又 勇紀 先生（株）JTB 中部静岡支店）



みんなで考えよう！

第1問！



○イギリスの^{こっき}国旗はどれでしょう？

①



②



③



答え



第2問！

みんなで考えよう！



○イギリスの^{せいしきこくめい}正式国名は？

①イギリス^{きょうわこく}共和国

②アイスランド

③グレートブリテンおよび

^{ほくふ}北部^{れんごうおうこく}アイルランド連合王国

答え



第3問！



みんなで考えよう！

○イギリス^{かんこう}観光のシンボル ロンドンバスは
なんかいだ
何階建て？

①^{かいだ}2階建て

②^{かいだ}3階建て

③^{かいだ}4階建て

答え



第4問！



みんなで考えよう！

○イギリス^{かんこう}観光のシンボル ビックベン^{なん}は何の
あいしょう
愛称？

①^{とけいだいぶぶん}時計台部分

②^{とけいだい かね}時計台の鐘

③^{たてもの}建物すべて



答え



第5問！



みんなで考えよう！

○ウェストミントスター^{じいん}寺院^{ねん}で 2011年に行われた
ぎょうじ
行事とは？

①オリンピック^{かいさいけつてい}開催決定^{しゅくがかい}の祝賀会

②キャメロン^{しゅしやう}首相^{しゅうにんしき}の就任式

③ウィリアム王子^{おうじ}とケイトさん^{けっこんしき}結婚式



答え



第6問！



みんなで考えよう！

○バッキンガム^{きやうでん}宮^{こくおう}殿^{じやうおう}には国王・女王^{ざいたく}の在宅^しを知らせるしるしがあります。そのしるしとは？

①衛兵交代^{えいへいこうたい}の有無^{う む}

②衛兵^{えいへい}の帽子^{ぼうし}の色^{いろ}がかわる

③屋上^{おくじやう}の旗^{はた}がかわる



答え

【講義のまとめ】

「ロンドンオリンピック開幕！イギリスへの旅」

講義を設定するにあたって

「大学で学ぼう」で取り上げてもらいたいテーマを話し合う中で、今年度はオリンピックイヤーということで、ロンドンオリンピックについての話題が数多く挙がった。ロンドンオリンピック自体の情報についてはTV、新聞等で話題にあげられているため、今回は、オリンピックの開催地である英国のロンドンを中心にした歴史や文化、名所、旧跡等の見どころについて、海外旅行のノウハウも交えながら、旅行会社の添乗員の方から直接お話を伺う機会を設定して講義を進めていくことにした。

＜重視した点＞

- ①講師が海外、特に英国についての知識や情報に詳しい専門家であること。
- ②参加者が、TV、新聞等で関心を持ったオリンピックについて、海外旅行という視点を切り口にして講義を組み立てた。
- ③学習者参加型のクイズコーナーを設け、“学びのパートナー”である大学生と社会人との共同作業を取り入れること。
- ④視覚教材を使用してより内容が伝わりやすい工夫を取り入れたこと。

講義の内容

① 講師の方から自己紹介

- ・株式会社JTB中部 静岡支店 勝又勇紀様、齋藤ひとみ様より自己紹介と簡単な会社の紹介を伺う。

② まずは海外旅行に出掛けるために

- ・パスポートの準備について申請から交付までの流れの説明を聞く。
- ・海外では、パスポートは命の次に大切なもの！という確認があった。
- ・外貨の準備について、イギリス通貨であるポンドに両替することや両替の方法について説明を受ける。
- ・海外旅行での万が一の病気やけがに備えての障害旅行保険への加入方法について説明を受ける。
- ・入国手続きで、パスポート残存有効期限の確認、ビザの発給の有無、入国カードの提出、空港税の加算等の留意点について詳しく説明をいただく。
- ・フライト情報として直行便や経由便などを選択して12～15時間かけてイギリスへは渡航できる。
機内への荷物の持ち込みには制限があるなどの注意点についても教えていただいた。
- ・航空券は公示と格安の2種類のチケットがあり、確実に安いものを旅行会社等とよく相談して購入した方がよい。

③ イギリスの基本情報

- ・みんなで考えようクイズ第1問 イギリスの国旗はどれでしょう？（画像3選択問題）
- ・みんなで考えようクイズ第2問 イギリスの正式国名は？
（グレートブリテン及び北部アイルランド連合王国）
- ・首都（ロンドン）、言語（英語、ゲール語、ウェールズ語、スコットランド語など）、時差（9時間）、サマータイム（3/27～10/30）、通貨（ポンド）、飲み水（水道水有、ミネラルウォーターの方がベター）、電気・通信機器（電気プラグが違う等）

④ イギリスの魅力

- ・イギリスの名物料理（フィッシュ&チップス、ステーキ&キドニー・パイ、ローストビーフ&ヨークシャー・プディング、アフタヌーンティー、モダンブリティッシュ）

- ・イギリスの魅力（イギリス生まれのキャラクター：ピーターラビット、プーさん、ハリーポッター、様々な世界遺産、世界のファッションの発信地、美術館、博物館を楽しむ）
- ・みんなで考えようクイズ第3問 ロンドンバスは名階建？（2階建て）
- ・みんなで考えようクイズ第4問 ビックベンは何の愛称？（時計台の鐘）
- ・みんなで考えようクイズ第5問 ウェストミンスター寺院で2011年に行われた行事とは？（ウイリアム王子とケイトさんの結婚式）
- ・みんなで考えようクイズ第6問 バッキンガム宮殿には国王と王女の在宅を知らせるしるしがありますその印とは？（衛兵交代の有無）
- ・ロンドンの見どころたっぷりコースの紹介
- ・ロンドンオリンピックの競技開催会場と関連スポットの紹介

スモールワークの様子（アンケートの記述から—原文のまま）

[卒業生・社会人・学びのパートナー]

<内容についての感想>

- ・イギリスへ行きたくなりました。
- ・旅行に行ってみたくまりました。
- ・また旅行の話を聞きたいです。日本と海外との時差やロンドンオリンピックの反省、衛兵さんの話を聞いてみたいです。
- ・イギリスのことがよくわかりました。
4つの国からできていること。正式な国名。美術館、博物館、宮殿などの有名な建物や施設のこと。
などを知ることができた。
- ・ロンドンオリンピックを見るのが楽しみになりました。
- ・パスポートを取るのに1週間もかかるとは思わなかった。
- ・お金が高くて旅行には行けません。
- ・イギリスの話は難しかった。

<講義の形式について>

- ・話が聞きやすかった。
- ・とても楽しく聴けました。
- ・クイズ形式の講義がおもしろかった。
- ・スライドの字が小さくて読みにくかった。
- ・もっと絵や写真を増やしてほしい。

講義を聴いて

- ・ロンドンオリンピックの開催に合わせたテーマだったことや、旅行会社の添乗員さんから直にイギリスの話をしていただいたことで、受講生が大変興味深く講義に参加することができた。
- ・イギリスについて、食事、歴史や文化、名所、旧跡等の見どころを通して詳しく説明していただいたことで、より多くの知識や情報を得ようとする意欲的な姿が、学びのパートナーとやり取りをする中で多く見られた。
- ・視覚教材やワークシートでのクイズの導入など、講師の方に受講生にわかりやすい講義を工夫していただいたことで、内容を良く理解して知識を広げていただく講義となった。教材の文字の大きさやさらに写真や絵を増やすなど、今後も具体的な内容になるようコーディネートできるようにしたい。

（高木 亮）

【講義・演習】

お顔のケアで印象アップ！～素敵な大人をめざそう～

佐藤 陽子、上鶴 りさ、大石 景子、勝山枝里子

～素直な大人をめざそう～

今日からやってみよう

頭皮のお手入れ

シャンプーのしかた

- ① お湯で全体をよく
流して、シャンプーの準備を
します



- ② シャンプーを手にとり
よく泡立てます



- ③ 指の腹をつかって
頭皮の汚れを洗います

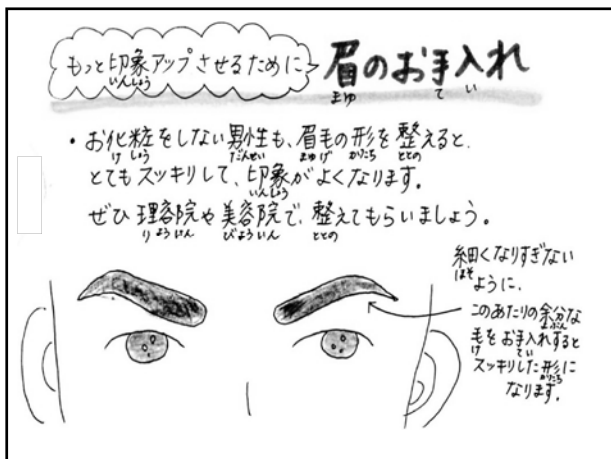


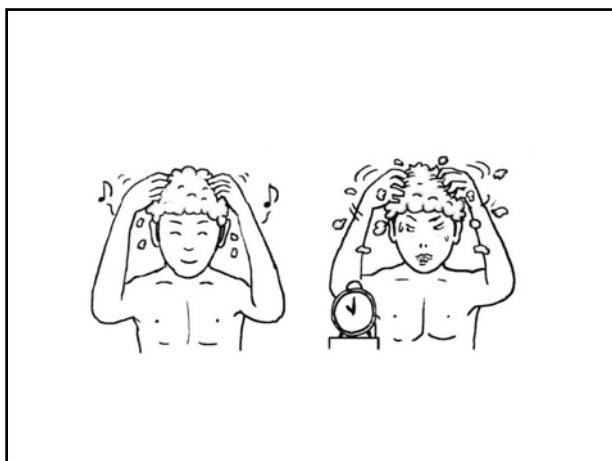
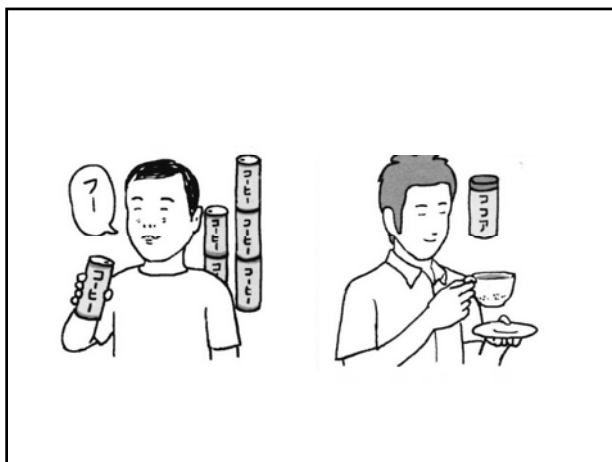
- ④ 泡が頭皮に残らない
ように、ていねいに流します。

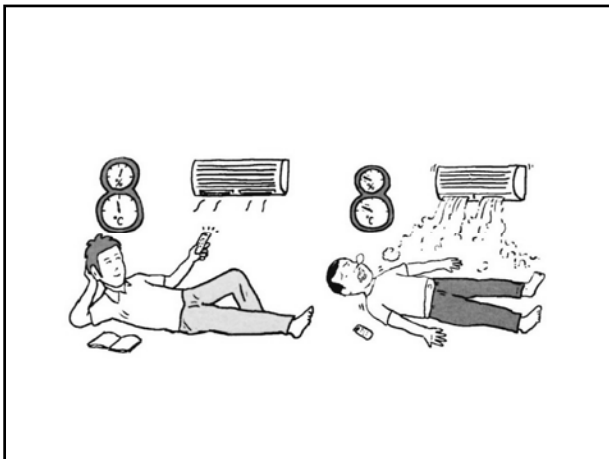


- ⑤ リンスやコンディショナーは、
髪の毛につけて、









【講義のまとめ】

「お顔のケアで印象アップ！～素敵なお大人をめざそう～」

講義を設定するにあたって

受講者の「おしゃれのことを知りたい」「お化粧のことを勉強したい」という要望からこの講義を設定した。

ファッションについては、2008年に「現代ファッション事情～流行は誰が考えるの？どうやって決まるの？～」というテーマで、一度取り上げている。このときは、流行がどうやって生まれるのかを映像で学んだり、実際に衣類や装飾品を使ってコーディネートを発表したりして、たいへん好評を博した。

そこで今回は、肌の手入れについて体験を通して学ぼうと考えた。講師には、美容や化粧の専門家である資生堂の上鶴りさ様、プロの美容師である美容室スタッフの大石宏和様を迎え、初めて男女別に分かれての講義を行った。男性は、体験を通してスキンケアを行ったあと、頭皮ケア、髪の手入れ、眉の手入れについても学んだ。女性はスキンケアの後、基礎化粧品を使ったメイクアップを実際に体験した。

どちらもみなさんが覚えて、即、毎日の生活の中で生かせるようにと、体験を中心に行った。

講義の内容

1 肌の手入れ～男性編～

肌は表皮、真皮、皮下組織の3層から成り立っている。男性の肌は、脂分が多いけれど、水分が少なく、肌が荒れやすい。ひげ剃りによって、刺激を受け、余計かさかさしやすくなる。

肌タイプチェックをすると、次の4つのタイプに分かれる。

N肌 うるおいがあっていい肌

D肌 かさつきやすい肌

O肌 うるおいがあるけれど、べたつきやすい肌 男性に多いタイプ

DO肌 脂っぼいのかさつきやすい肌

肌に水分を与え、余分な脂分を取るために肌の手入れをしていくことが必要。相手に与える印象も変わる。

①洗顔シートでやさしく拭く。額、鼻、顎など脂っぼいところを念入りに。

②化粧水をコットンにつけて、くるくるとやさしく肌に当てる。頬→額→目の上、目の下→鼻→口の周り→顎の順番に拭く。

③乳液をコットンにつけて、化粧水と同じ手順で、肌に当てる。

④日焼け止めクリームは、よく振って10円玉位の量を手のひらに取り、顔につける。

⑤育毛剤は頭皮に近づけてスプレーし、手で押さえる。

2 頭皮の手入れ 髪の整え方、眉の手入れ～男性編～

毎日洗髪をすることが大切。手順は①お湯で髪の汚れを流す②シャンプーを手に取り、泡立てる③指の腹を使って頭皮を洗う④泡が残らないようにていねいにお湯で流す⑤リンスやコンディショナーを適量つける⑥よく流す⑦タオルで水分を拭き取り、ドライヤーで乾かす。

3 肌の手入れ、メイクアップ～女性編～

- ① ケープをつけて、髪を止める。
- ② 化粧水をコットンにつけて、くるくるとやさしく肌に当てる。頬→額→目の上、目の下→鼻→口の周り→顎→首の前→首の後→耳たぶの順につける。
- ③ 乳液をコットンにつけて、化粧水と同じ手順で、肌に当てる。
- ④ 日焼け止めクリームは、よく振って10円玉位の量を手のひらに取り、顔につける。
頬、額、鼻、顎につけ、やさしく顔全体に伸ばした後、押しこむ。
- ⑤ 3回ファンデーションをこすってスポンジに付けた量が、顔半分の目安になる。
かるくなでる。
- ⑥ アイシャドウの表面を3回ほどチップでなでて取る
- ⑦ 口紅 紅筆にたっぷりめの紅をつける
- ⑧ ほほ 口紅に近い色を選ぶ くるくると回しながらつける

講義を聴いて

学びのパートナーの感想をまとめてみると、

- ・受講者の約70パーセントの方が高い意欲を持って講義を受けていた。
- ・男性では、70パーセントの方が、実際にスキンケアや頭皮ケアをすることができていた。
- ・女性では、90パーセントの方が、実際に化粧をすることができていた。

と感じていた。女性の関心の高さが窺える。

受講者は、自分の肌で体感しながら「気持ちいい」「スースーする」「ちくちくする」など、自然に感想を述べていた。終始、和気あいあいとした雰囲気、リラックスしている様子が見られた。学びのパートナーと冗談を言い合う姿も見られた。

今回は、初めて男女別に分かれての講義となったが、それぞれに関心がある内容を設定することができた。また、最後にお互いが素敵に変身した姿を見合うことも、インパクトがあった。

資生堂の方、美容室スタッフの方が多く参加され、手ほどきをしてくださったこと、使用する化粧品等が一人ひとりに準備されていたこと、体験を中心に行ったことなどで、充実した内容になった。学んだ内容が今後につながっていくことを期待している。

(五條由美子)

【講義・演習】

ダンスで交流してみよう！ーダンスはみんなの共通語

山崎 朱音

2012.10.21 静岡大学公開セミナー
「学ばって楽しい！」

ダンスで交流してみよう —ダンスはみんなの共通語

静岡大学教育学部
山崎朱音

1

世界のダンスを観てみよう！



2

世界のダンスを観てみよう！



3

ダンスを分類してみると...

参加 交流	形がきまっている	社交ダンス 日本の民謡	インド舞踊・フラメンコ・ 歌舞伎舞踊（日本舞踊）・ クラシックバレエ	上演 発表
	形が決まっていない	ストリートダンス ブレイク・ロック・ヒップ ホップ	モダンダンス コンテンポラリーダンス 舞踏	

4

人はなぜ踊るの？

- ・ 神に祈る
- ・ 精神を高揚させる
- ・ 結婚や葬儀
- ・ 季節の到来を告げる
- ・ 求愛
- ・ 癒し
- ・ 物語を表現する
- ・ 戦う
- ・ 宮廷ダンス



5

これもダンス？！



映像

6

赤ちゃんも踊る！

映像

7

王様も踊る？



ルイ14世（太陽王）
1638～1715, フランス

- ・1643年、ルイ14世が5歳でフランス国王に即位した際、数時間にも及ぶ豪華絢爛なバレエが催され、ルイ14世自らが出演。
- ・1653年15歳の時に『夜のバレエ』で本格的に舞台デビュー。
- ・1661年に王立舞踏アカデミーを創立。
- ・ルイ14世の舞踏教師ピエール・ボーションによってポジションが定められ、舞踏符が確立されるなど、バレエがダンスとして体系づけられたのもこの頃。

8

ダンスの発生

- ◆身体を通して伝達・表現する
- ◆他者と交流する
- ◆リズムに興じて身体を動かす（律動の快感）
- ◆日常の世界から離れたい
いつもの自分から変わりたい（変身欲求）
- ◆文化として伝えていく



9

人間とダンス

舞踊は、言葉や文字が生まれる前から存在した人類最古の文化
ダンスの語源：＜desire of life：生命の欲求＞
・・・人々は様々な思いや欲求を身体で語りかけ、
生きる証として踊り、
踊ることによって他者と共感・交流していた



いつでも

人間は踊る存在

どこでも

だれとでも

10

ダンスは・・・

- ・ダンスはどんどん変化する
- ・ダンスは文化として伝わっていく
- ・ダンスはコミュニケーションをとるための道具
- ・ダンスは人を選ばない
- ・ダンスに正解はない



みんなちがって、みんないい

11

【講義のまとめ】

「ダンスで交流してみよう！—ダンスはみんなの共通語」

講義を設定するにあたって

「大学で学ぼう」のテーマを受講生と話し合う中で、「音楽」「ダンス」について興味や関心があるという声が多く寄せられた。受講生の多くが特別支援学校卒業後に企業や福祉サービス事業所で働く生活を送っている社会人である。毎日、働く中で自分の体力や健康に気を配りながら、運動の楽しさを感じたり、生き生きと体を動かしたりするための方法について学ぶ機会が必要であると考えた。

そこで、今回は静岡大学の教育学部保健体育教育の先生にコミュニケーションダンスを指導して頂くことにした。舞踊教育について研究をされている立場から、ダンスの実技指導やコミュニケーションとしてのダンスの奥深さについても学ぶ機会としたいと考えた。

＜重視した点＞

- ①講師が体力や健康、ダンスに関する知識や技能に詳しい専門家であること。
- ②参加者に内容を分かりやすく伝えるために、視覚的教材を活用すること。
- ③話を聞くだけでなく、実際に様々なダンスを行う体験を取り入れること。

講義の内容

1 世界のいろいろなダンス

ダンスは心をほぐし、心を温かにする効果がある。また、世界には様々なダンスがある。

【フラダンス】

- ・ハワイのダンス。手の動きが波と言う言葉、メッセージを伝えている。ハワイの火山を鎮めるための祈りのダンスから生まれた。

【ケチャ】

- ・インドネシアのバリ島のダンス。男の人たちのダンスで、踊りに意味がある。お寺で行うダンスであり、寺院に舞台が設置されていて、疫病を鎮めるためのダンスである。音楽ではなく、口で言葉を唱えながら行われる。

【エモン】

- ・インドネシアのダンス。男の人が女装をして踊る。特別な音楽楽器で伴奏して踊る。手のひらをそらせて踊るという特徴が見られる。

【フラメンコ】

- ・スペインのダンス。情熱的で、ギターの伴奏や歌とともに行われる。戦争などの不安定な社会情勢の歴史の中で生まれた。

【クラシックバレエ】

- ・つま先立ちでハクチョウの優雅な動きを表現している。左右対称の動きを特徴としており、妖精を表現して軽やかな動きが作られている。

2 ダンスの分類

ダンスの目的や特徴は様々である。良く知られたダンスだけでも、阿波踊り、ヒップホップ、社交ダンス、フォークダンス（世界の地域の踊り）、創作ダンス、モダンダンス、日本舞踊、クラシックバレエ等がある。

- ・神へ祈るダンス・・・・・・イスラエルのマイムマイム。神に水を祈り求める。

- ・目の動きもダンスの特徴・・・バリのエゴンのダンス。目の動き等の表情で表現。
- ・衣装もダンスの一部・・・韓国ではチマチョゴリと扇子などの衣装を着て踊る。
- ・足の置き方の違い・・・日本舞踊では足を内股に配するのに対し、バレエでは外向きに広げた姿勢で踊る。
- ・身体の動かし方の違い・・・日本の踊りは農耕の歴史の中でかがんで下へ下へと向かう踊りが多い。土の文化ですり足に特徴がある。一方で、バレエは上へ上へと向かう動きが特徴的で跳び上がりジャンプする表現に特徴がある。

加えてダンスは、形が決まっているものやいないもの、参加交流型や上演発表形態によっても分類される。また、アフリカからアメリカに奴隷として渡った人々が、反発心を表現するためにダンスを生み出したという例も紹介された。

そして、ダンスの映像を観ながら、言葉がなくても、いつでもどこでも、だれとでも通じ合うのがダンスであるとの話を聞いた。

3 ダンスの実演

最後に大きな円を作り、みんなでダンスの実技を行った。ひとりでのダンスや二人組のダンス、手をつないでみんなで踊る交流ダンスなどを楽しみながら行った。

スモールワークの様子（アンケートの記述からー原文のまま 一部抜粋）

【卒業生・社会人】

- もっといろんなダンスをやりたいです。次はAKBを踊りたいです。
- とても楽しかった。ダンスは最高です。
- 頑張りました。疲れました。汗をかきました。気持ちよかった。
- 世界にはいろんなダンスがあることが分かりました。
- ダンスのことがとても勉強になりました。

【学びのパートナー】

- 参加者の方々とダンスが出来て楽しかった。笑顔になりました。
- ダンスってすごいなと素直に感動しました。
- 様々な文化や動きの中でダンスが取り入れられ、コミュニケーションの手段となっているということで、ダンスに親しむことができました。
- ダンスは世界共通だと感じました。

講師を聴いて

ダンスはコミュニケーションの手段であり、人の文化、歴史そのものの表現であることを理解することができた。また、「いつでも、どこでも、だれとでも」楽しめるのがダンスであるとの講師の言葉に参加者もダンスの魅力を改めて感じていたようである。受講者に対する「講義は分かりやすかったですか」の質問では、難しかったと7%の回答がある一方、96%の受講者が「とても楽しい」「気持ちいい」と答え、「またやりたい」との言葉が口々に聞かれた。

学ぶことへの意欲を高めるための学習の場として、とても有意義な時間であった。

（齊藤 望）

【資料編】

授業後のアンケート集計結果(社会人・学生)

学びのパートナーとして、いっしょに受講して

参加者の感想

これまでの「学ぶって楽しい！ー大学で学ぼうー」

スタッフ名簿

授業後のアンケート集計結果（社会人・学生）

各講義の終了後に行った4回のアンケートの結果をまとめると以下の通りである。

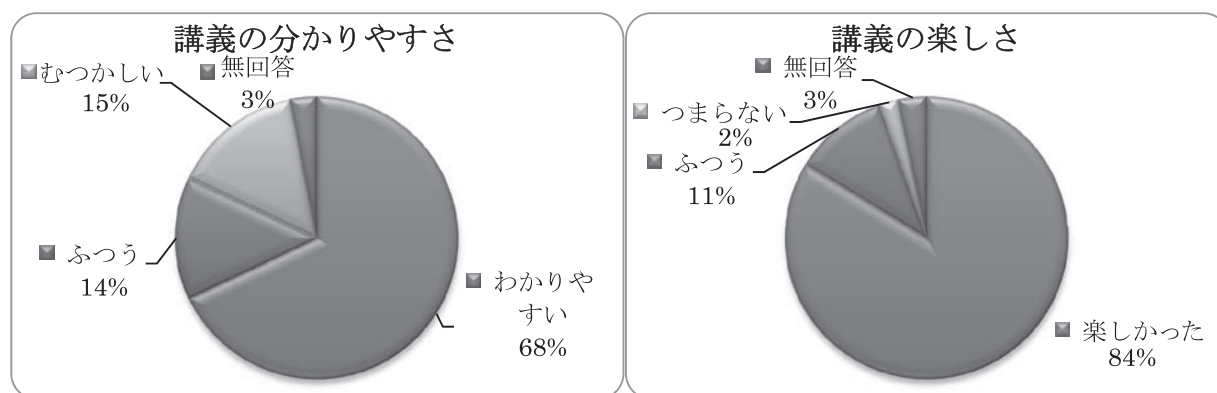
○講義1 グラフの話～点と線でできた図形を数学的に考えよう～

質問①：講義は、わかりやすかったですか？むづかしかったですか？

回答①：わかりやすかった62名（68%）、ふつう13名（14%）、むづかしかった14名（15%）、無回答3名（3%）。

質問②：講義は、楽しかったですか？つまらなかったですか？

回答②：楽しかった77名（84%）、ふつう10名（11%）、つまらなかった2名（2%）、無回答3名（3%）。



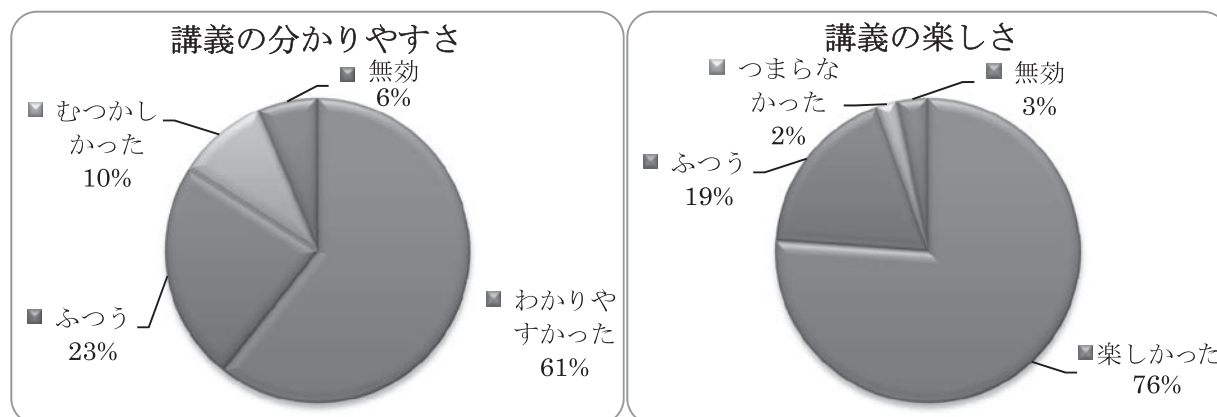
○講義2 ロンドンオリンピック開幕！イギリスへの旅

質問①：講義は、わかりやすかったですか？むづかしかったですか？

回答①：わかりやすかった57名（61%）、ふつう22名（23%）、むづかしかった9名（10%）、無回答4名（6%）。

質問②：講義は、楽しかったですか？つまらなかったですか？

回答②：楽しかった70名（76%）、ふつう17名（19%）、つまらなかった2名（2%）、無回答3名（3%）。



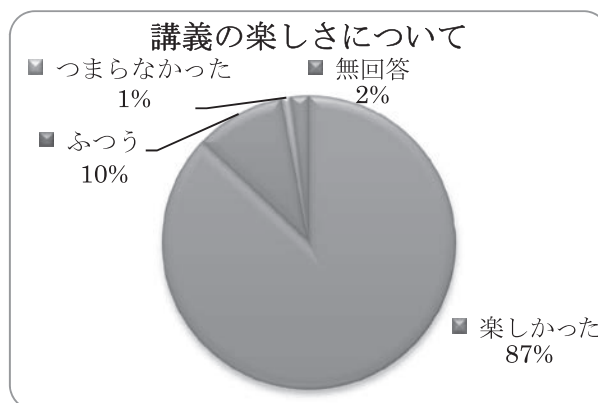
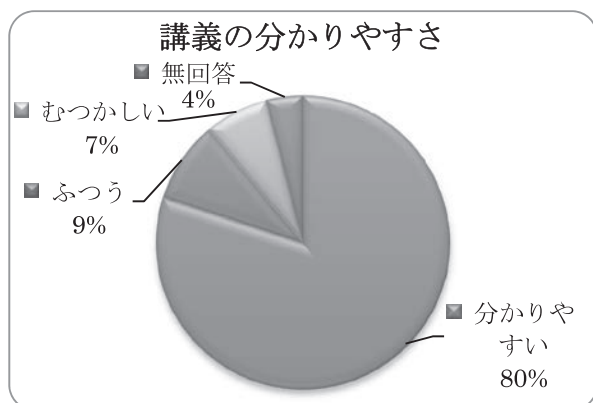
○講義3 お顔のケアで印象アップ！～素敵な大人をめざそう～

質問①：講義は、わかりやすかったですか？むづかしかったですか？

回答①：わかりやすかった80名（80%）、ふつう9名（9%）、むづかしかった7名（7%）、無回答4名（4%）。

質問②：講義は、楽しかったですか？つまらなかったですか？

回答②：楽しかった87名（87%）、ふつう10名（10%）、つまらなかった1名（1%）、無回答2名（2%）



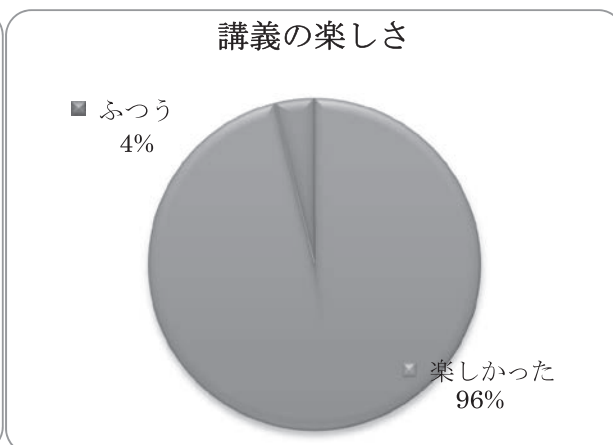
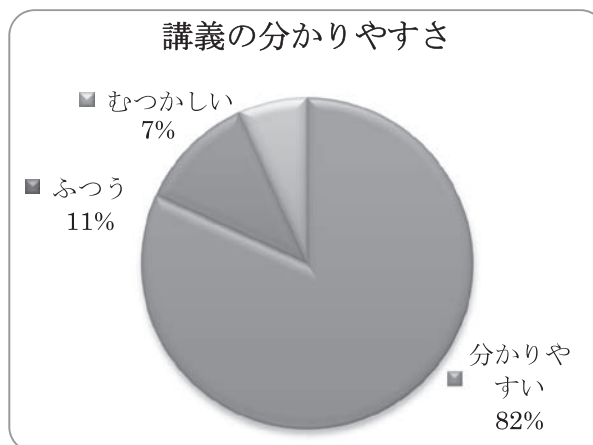
○講義4 ダンスで交流してみよう！—ダンスはみんなの共通語

質問①：講義は、わかりやすかったですか？むづかしかったですか？

回答①：わかりやすかった85名（82%）、ふつう12名（11%）、むづかしかった7名（7%）、無回答0名（0%）。

質問②：講義は、楽しかったですか？つまらなかったですか？

回答②：楽しかった100名（96%）、ふつう4名（4%）、つまらなかった0名（0%）、無回答0名（0%）。



（黒岩 一雄、山田 里佳）

学びのパートナーとして、いっしょに受講して

「学ばって楽しい！－大学で学ぼう－」に参加した大学生の報告・感想など

静岡大学公開セミナー「学ばって楽しい！－大学で学ぼう－」は、障害のある人もない人も共に学ぶ、ユニバーサルな学びを目指している。セミナーが始まった当初から、静岡大学教育学部特別支援教育専攻等の学生が社会人といっしょに講義を受講し、演習（スモールワーク）に共に取り組んでいる。今回もセミナー終了後に、学生たちに学びのパートナーとして、「講義中のスモールワークの取り組み状況」についての報告や感想などを求めるアンケート調査を行なった。

調査の概要

- ・対象：静岡大学教育学部特別支援教育専攻等の参加学生（第14回20名、第15回41名）
※第14回は2年生が20名。第15回は1年生が21名で、3年生が20人。
- ・調査内容：「講義中のスモールワークの取り組み状況」
- ・アンケート調査の実施期間：第14回 2012（平成24）年6月27日～7月11日
第15回 2012（平成24）年10月23日～11月15日
- ・回答方法：選択肢回答と自由記述を併用。無記名。調査用紙配布、記入後に各自が提出。
- ・回収数：第14回18（回収率90.0%）、第15回37（回収率90.2%）

調査の結果

Q1 「あなたは、受講した人達が知的障害のある、なしにかかわらず、講義中のスモールワークに全体としては、いっしょに取り組めたと思いますか」（「大変取り組めた」「かなり取り組めた」「ふつう」「あまり取り組めなかった」「ほとんど取り組めなかった」の5段階評定。他に「何とも言えない」もあり。評定をした理由を自由記述）（表1）

表1 「スモールワークに全体としては、いっしょに取り組めたと思いますか」

段階 回	5 大変 取り組めた	4 かなり 取り組めた	3 ふつう	2 あまり 取り組めなかった	1 ほとんど 取り組めなかった	0 何とも 言えない
第14回	5名 (27.8%)	11名 (61.1%)	1名 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)
第15回	7名 (18.9%)	25名 (67.6%)	2名 (5.4%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)	2 (5.4%)

・どちらの回も「4 かなり取り組めた」が6割以上を占めた。「5 大変取り組めた」と「4 かなり取り組めた」を合わせると、第14回は88.9%であり、15回は86.5%である。どちらも、5段階と4段階に集中している。全般的にみて、多数の学生が、講義中のスモールワークに社会人と学生がいっしょに取り組めた、と評定した。

<第14回>（自由記述 原文のまま）

「好きな食べ物を線でつなぐさい、話しながら楽しく教えあいながらとりくめた」、「それぞれ5人ともと話したり活動したりできた。一人一人の様々をその度見て、進度が正確にできているか確認できた」、「純粹に講義の内容がおもしろくて、積極的に、講義、実技に参加できた。特に一筆書きは楽しくて、夢中になった」（以上、評定5）、「みんな障害を持っている人達に対して、何とか内容を理解させてあげようとがんばっていたし、一体になって課題に取り組んでいたと思う」、「8人で1グループでし

たが、グラフ作成など素早くおえてしまって、話し合いなどしていましたが、「人筆書きの授業の時共に悩みながら色々な思考をめぐらして案を出せたから」、「互いに声を掛け合ったりしていたし、一緒に取り組めたと思う」、「イギリスのクイズやグラフの人筆書きなど、「ここはこうではないか」など一緒に考えながら取り組めたため」、「みんなでグループになりやったときに、グループ内でも会話などがみえ、グループ一体となり、取り組めたと思う」、「分からなさそうにしていたら、適切な補助ができた」(以上、評定4)、「全部興味がなさそうな人もいらっちゃって、皆さん全員とは言い切れないのですが、たのしくとりくめました」(以上、評定3)。

<第15回> (自由記述 原文のまま)

「自分達からだけでなく障害のある方からもサポートがあったことに気づいた」、「チェックリストと一緒にやるなど、主体的に活動できたと思います」(以上、評定5)、「ダンスやメイクアップ講義を自分自身も楽しみながらパートナーさんと取り組めた」、「一緒に行動した方以外の人たちとも多く関わることができたから」、「みんな自主的に動いていたから」、「グループのみんなでコミュニケーションをはかり、課題をとりくめたから」、「知的障害を持っている方々とは、同じグループ内でよく関われたと思いますが、同じグループの障害のない人たち(学年が違う人とか)とは必要以外には関われなかったです」、「2人組で行うダンスの際、人を交代する時に自ら関わり、声をかけている人が多く見受けられた」、「思ったこと、感じたことをためらわずいえる雰囲気であったため、楽しく一緒に取り組みました」、「一緒にダンスをしたり、肌の手入れについて話しながら取り組むことができた。一緒に取り組むという課題が良かった」(以上、評定4)、「実技はかなり一緒にできたと思うが、講義は1人1人で学んでいるような形になったように思うので」(評定3)、「グループワークが少なかった。お互いの声が届いていないように感じました」(評定2)。

Q2 「あなたは、受講していた知的障害のある人に、どんな場面で、どんな援助や配慮をしましたか。

援助をした人はできるだけ具体的に書いてください。特になかった人は『なし』と書いてください」(自由記述)

講義中の援助内容や方法、援助をした際に配慮したことに言及した回答について、第14回と第15回の2回分を以下に集めた。何らかの具体的な援助をした学生は44名(延べ人数)であった。「なし」は10名で、第14回は2名、第15回は8名であった。

「・援助の内容や方法は、＜教える・説明する(アドバイスする)(指さす)＞(21件)、＜問い掛け・声掛けをする・促す＞(8件)、＜いっしょに作業をする(補助をする、手伝う)＞(12件)、＜例を挙げる・手本を見せる・ヒントを言う＞(6件)、その他(2件)であった。
＜教える・説明する(質問に答える)(アドバイスする)(指さす)(注意を促す)＞(以下、自由記述 原文のまま)

「長い説明の中で、何が特に強調されているか、ということをマーカーを引く箇所を言いながら説明しました」「どのプリントをやっているかを教えていた」「一筆書きが分からない人にヒントをあげたり、グラフ(好きなものと自分の名前を結ぶ)の引き方が間違っているときに訂正をしました」「資生堂の方のお話が理解できていないと感じたときは、ゆっくりと、文を短くしてつたえるようにした」「プリントのどこを説明しているのか指で指し示してあげた」「スキンケアの時にぬる場所を教えたり、やり方を教えたりした」「講師の人がしてくれた説明をかみくだいてくり返す。ジェスチャーを大きくつかいわかりやすく説明する。」「お話をしてくれる人たちの話が少し難しい部分を、言葉をかみくだいて説明したりしました」「アンケート、説明しているときにわかりやすく教えた」「分かりにくい話しなどは、つけ加えや指さしで、分かりやすく、伝えた」「美容の際、どのクリームをどこへどうするのかを伝えた。漢字の読み方を教えた」「アンケート用紙のどれを使うのか示したりした」「コットンの持ち方を教えた」
etc.

＜問い掛ける・声掛けをする・促す＞

「『気持ち良いですか？』などと声をかけた」「スキンケアの講義の際、どの道具を使うかを伝えて援助を行った」「メイクレッスン・・・似合う色、年齢に合った色をさりげなくすすめました」「スキンケアで顔に化粧水などつけるのが苦手だったけれど、無理にやろうとしていたため、『嫌だったらやらなくても大丈夫ですよ』と声をかけて配慮をしました」「だすプリントにまよっている時、声かけをした。お化粧の時、どうやるのかまよっている様子がわかったので、お手伝いをした」「自分から声を発するのが苦手な方には、グループに入れるよう声をかけたり、出来ない事、苦手な事に関しては代わりに〇〇をする、といったような代案を考えた」「言葉かけをしました。説明の要点を伝えて、何をするのかを伝えようとしました」 etc.

＜いっしょに作業をする（補助をする、手伝う）＞

「算数のグラフをつくる場所では全員に見えるようにグラフを見せたり、ひとふでがきのところでは一緒に考えたり、ヒントを出したりした」「どのプリントやレジュメを使えばいいのかわからないとき、一緒にさがしたりしました」「ダンスの時に、手をとって一緒に動いた」「肌のケアの実践でのコットンのもちかたの補助」「顔の印象アップのコーナーで、みんながスクリーンを見ている時に配られた紙に意識が集中しているように見えたので、スクリーンの方を手で示すようにしました」「『次はこれをつけるですよ』など、少し困っているかなと、感じた時は手助けをしました」「自分の肌のタイプ診断をする時に、チャートの使い方がよく分からなかったようなので、代わりにやりました」etc.

＜例を挙げる・手本を見せる・ヒントを言う＞

「どうしても字がかきにくい、線が引けない人に対しては蛍光マーカー（太い方）でひいた後になぞってもらった」「算数のグラフをつくる場所では全員に見えるようにグラフを見せたり、ひとふでがきのところでは一緒に考えたり、ヒントを出したりした」「一筆書きがわからない人にヒントをあげたり、グラフ（好きなものと自分の名前を結ぶ）の引き方が間違っているときに訂正をしました」「参加者の方がコットンがうまく持てていなかったとき、自分でもやって教えた」「自分から声を発するのが苦手な方には、グループに入れるよう声をかけたり、出来ない事、苦手な事に関しては代わりに〇〇をする、といったような代案を考えた。」 etc.

「・援助をする際には＜目上の人であること忘れないように＞＜ゆっくりと＞＜分かりやすく＞＜目を見て＞＜無理矢理にしないよう＞＜嫌だったらしくなくていいよ＞＜要点を伝えて＞といった配慮や具体的な援助の方法を取っていた。」

「自分より年上の方だったので、目上の方ということを忘れないように配慮しました」「理解できていないと感じたときは、ゆっくり、文を短くして伝えるようにした」「ジェスチャーを大きくつかい分かりやすく説明した」「ダンスが苦手なように見えたので、参加する？しない？などと声をかけて、無理矢理にならないようにしました」「『嫌だったらやらなくても大丈夫ですよ』と声をかけて配慮をしました」「説明の要点を伝えて、何をするのかを伝えようとしました」 etc.

まとめ

「受講した人達が知的障害のある、なしにかかわらず、スモールワークに全体としては、いっしょに取り組めたと思いますか」の問いに、「大変取り組めた」「かなり取り組めた」と答えた学生が88.9%（第14回）と86.5%（第15回）と多数であった。具体的な様子は自由記述の中に見られるが、総じて達成感や満足感が伺える。スモールワークでの取り組みでは、社会人の求めに応じて、また、その様子を見ながら、必要に応じて＜教える・説明する＞ことを中心に、＜いっしょに作業をする＞ことや＜問い掛ける・声掛けをする・促す＞こと、＜例を挙げる・手本を見せる・ヒントを言う＞ことを行っている。また、＜ゆっくり＞、＜分かりやすく＞＜無理矢理にしないよう＞など、社会人の主体性を尊重した配慮によって、ユニバーサルな学びを実現している。

（渡辺 明広）

参加者の感想

講義終了後、受講されたみなさんから感想をいただきました。

第14回 グラフの話～点と線でできた図形を数学的に考えよう～

<内容についての感想>

○楽しかった。とってもいいです。 ○数学は得意じゃないほうです。でも楽しかったです。
○また勉強したいです。 ○また参加したいです。 ○ジャンケン大会がおもしろかった。いろいろなグラフがあることがわかりました。 ○数学は難しい。グラフはわかりにくい。なんて思っていたけど、楽しみながら学べてよかった。 ○知らなかったことが知れてよかった。なるほどと思った。 ○グラフの不思議なことがたくさん分かりました。学生の頃にこうやって学べたらよかった。

<講義の形式について>

○難しかったがとてもわかりやすかった。 ○大田先生の講義は少し難しかったけれど、周りの人と協力してできました。 ○グラフのことがわかってきたのでよかったです。難しいところもありました。 ○グラフの一筆書きが大変だったけど、分かりやすくて楽しかったです。 ○線で書くのが難しかったです。でも。大学の人達とできるようになってよかったです。 ○ジャンケン大会と食べ物のグラフが一番面白かった。来年は違う内容にして下さい。 ○オイラーの定理、勉強になりました。○一筆書きが非常におもしろかったです。できるとスッキリします。
○一筆書きがとても頭を使ったので楽しかったです。ありがとうございました。 ○一筆書きが難しかったけど、できたときは嬉しかったです。 ○一筆書きのコツが奇数から始めて奇数で終わるということがわかっておもしろかった。 ○最後の一筆書きの答えが本当に分からないので答えを教えてください。 ○このグラフは奇数から始めても一筆書きができませんよね？

第14回 ロンドンオリンピック開幕！イギリスへの旅

<内容についての感想>

○イギリスへ行きたくなりました。 ○旅行に行ってみたくになりました。 ○また旅行の話を聞きたいです。日本と海外との時差やロンドンオリンピックの反省、衛兵さんの話を聞いてみたいです。 ○イギリスのことがよくわかりました。4つの国からできていること。正式な国名。美術館、博物館、宮殿などの有名な建物や施設のこと。などを知ることができた。 ○ロンドンオリンピックを見るのが楽しみになりました。 ○パスポートを取るのに1週間もかかるとは思わなかった。 ○お金が高くて旅行には行けません。 ○イギリスの話はむずしかった。

<講義の形式について>

○話が聞きやすかった。 ○とても楽しく聴けました。 ○クイズ形式の講義がおもしろかった。 ○スライドの字が小さくて読みにくかった。 ○もっと絵や写真を増やしてほしい。

第15回 お顔のケアで印象アップ！～素敵な大人をめざそう～

<内容について、感想など>

○頭皮のケアが楽しかった。 ○次回やる時は衣装のことを勉強したい。 ○お顔のケアは初めてのことを色々できました。 ○シャンプーを良くつけて洗いたい ○髪の毛や肌をきれいにする方法について悩んでいたのもっと勉強したい。 ○男のおしゃれについていろいろなことが分かった。 ○初めてで難しかったけど勉強になった。 ○顔がしっとりときれになり、スッカリしました。 ○頭と顔のケアの大切さが分かりました。 ○身だしなみを整える上で、大切なことを学びました。 ○頭皮のお手入れのこと、お化粧のことが大変よくわかりました。 ○学生さんにいろいろと教えてもらって楽しかった。 ○もっとこまめにケアをした方が良いと思いました。 ○普段あまりやっていないことがいっぱいありました。仕事に行く時も頑張ってみます。 ○アリキックというボランティアの活動で、メイクアップをやらせてもらっています。 ○資生堂のメンズケア製品の使い方、水を使わずにできるやり方があるとは知りませんでした。

<学びのパートナー（学生ボランティア）の声>

○実演があり心に残る講義でした。 ○実演で手入れの仕方が説明され、分かりやすかった。 ○参加者に分かりやすく、楽しい講義でした。 ○正しいシャンプーの仕方など詳しく知ることができた。自分自身のスキンケアを見直す機会になった。 ○頭皮マッサージは是非実践したいと思います。 ○肌のタイプやスキンケアの大切さなどについて知ることができました。 ○眉毛の形で印象が変わることが分かった。意識していきたい。 ○正しい化粧水のつけ方を知れてよかったです。 ○参加者の方々の表情が素敵だった。 ○参加者の方々も上手に実践していました。

<参観した保護者の方の声>

○このような機会があると子どもは嬉しいと思います。 ○分かりやすく丁寧に教えて頂きありがとうございます。 ○娘もお化粧に興味を持つことができたと思います。 ○身だしなみが上手にでき、楽しむことができることは、とても素敵なことだと思います。

第15回 講義4 ダンスで交流してみよう！—ダンスはみんなの共通語

<卒業生・社会人>

○もっといろんなダンスをやりたいです。次はAKBを踊りたいです。 ○とても楽しかった。ダンスは最高です。 ○頑張りました。疲れました。汗をかきました。気持ちよかったです。 ○世界にはいろんなダンスがあることが分かりました。 ○ダンスのことがとても勉強になりました。

<学びのパートナー（学生ボランティア）の声>

○参加者の方々とダンスが出来て楽しかった。笑顔になれました。 ○ダンスってすごいなと素直に感動しました。 ○様々な文化や動きの中でダンスが取り入れられ、コミュニケーションの手段となっているということで、ダンスに親しむことができました。 ○ダンスは世界共通だと感じました。

（黒岩 一雄、山田 里佳）

これまでの「学ぶって楽しい！－大学で学ぼう－」

2005年度 第1回（通算：第1回）

	講義 1	講義 2
講義名	「科学って面白い ーシャボン玉って超面白いー」	「人間が創る楽しさをとりまく世界」
講師	佐藤 早苗氏 シャボン玉遊び研究所主宰 元静岡県立吉原工業高等学校校長	東 俊光氏 静岡大学教育学部教授 元静岡大学教育学部附属養護学校校長
講義概要	いろいろなシャボン玉作りを実演し、シャボン玉の秘密をおもしろクイズで解きながら、驚きと感動と共に、その不思議を“科学してみよう”。	スケッチ旅行に訪れる機会の多いイタリアの言語と生活習慣について紹介したり、自分たちの生活と比較させたりすることで、異文化に対する興味・関心を深める。
参加者数	社会人（高校生を含む） 41人 大学生 24人 その他 24人 計 89人	

2006年度 第1回（通算：第2回）

	講義 1	講義 2
講義名	「駿府城をもっとよく知ろう」	「隣の国に行ってみよう ～ごきげんな韓国済州島～」
講師	小和田 哲男氏 静岡大学教育学部教授	並川 欣史氏 名鉄観光サービス株式会社 静岡支店 営業係長
講義概要	城はなぜ造られたか、城の種類などを概説し、駿府城の歴史、築城した徳川家康について解説する。また、駿府城を“探検”するための見所やポイントを考える。	魅力的な韓国済州島への旅行を紹介しながら、パスポートの取り方など海外旅行をするために役立つ情報を提供する。
参加者数	社会人（高校生を含む） 49人 大学生 35人 その他 35人 計 119人	

2006年度 第2回（通算：第3回）

	講義 1	講義 2
講義名	「宇宙人はいる?! 宇宙の不思議」	「やっぱりサッカーは最高! 2006W杯ドイツ大会を観戦して」
講師	寺尾 理氏 前静岡県総合教育センター教授	難波 邦雄氏 静岡大学教育学部教授
講義概要	地球に人間がいるように、宇宙のどこかの星には、宇宙人や生き物がいるのかなど、宇宙の不思議を分かりやすく、面白く講義する。	4年に一度開催されるサッカーW杯。今年行われたドイツ大会の観戦記やドイツの生活ぶりについて紹介する。また、氏がサッカーを通して学んだことや人との出会いについても触れる。
参加者数	社会人（高校生を含む）46人 大学生25人 その他31人 計102人	

2007年度 第1回（通算：第4回）

	講義 1	講義 2
講義名	「アイスブレイクからはじめよう! ～心理の世界へようこそ～」	「地震はなぜ起こる？」
講師	大畑 智里氏 静岡大学教育学部附属特別支援学校 教諭	小山 眞人氏 静岡大学教育学部教授
講義概要	アイスブレイクを通して、初対面の人との緊張をときほぐす。無人島SOSゲームを体験しながら、周りの人とのコミュニケーションのこつを探る。	地震や津波が起こる仕組みを、ビデオやスライドを使って分かりやすく説明する。いつ起きてもおかしくないと言われる東海地震について、震度や津波の規模を予想する。
参加者数	社会人（高校生を含む）46人 大学生32人 その他30人 計108人	

2007年度 第2回（通算：第5回）

	講義 1	講義 2
講義名	「コンビニの秘密」	「モータってなんだ？ ～ペットボトルモータをつくろう！～」
講師	伏見 一茂氏 セブン・イレブン・ジャパン東海ゾーン ゾーンマネージャー	増田 好治氏 静岡大学名誉教授 NPO法人技術教育教材開発研究会 今田 真一氏 静岡大学教育学部附属特別支援学校 教諭
講義概要	おでんが一番売れるのはいつ？一日の時間帯ごとに売り場が変わるって本当？など、クイズ形式で、身近にありながら知らなかったコンビニエンスストアの秘密に迫る。	フレミングの左手の法則やモータの原理を説明した後、磁石と電池を使ったペットボトルモータを作成する。はんだごてにも全員が挑戦して、モータを完成させる。
参加者数	社会人（高校生を含む） 44人 大学生 30人 その他 35人 計 109人	

2008年度 第1回（通算：第6回）

	講義 1	講義 2
講義名	「不思議感動！科学する心とは！？」	「現代ファッション事情 ～流行は誰が考えるの？どうやって決まるの？～」
講師	熊野 善介氏 静岡大学教育学部教授（理科教育）	大橋 芳幸氏 株式会社コックス ブランド開発部長
講義概要	「実験をやりたい」という受講生の声に応えます！学びのパートナーとともに、実際に自分で作って体験し、科学の不思議にふれてみよう！	毎年発表される、流行ファッション。色や素材、形等は、誰がいつ、どのように決めているのでしょうか。実際にコーディネートしながら、どんな組み合わせがカッコイイのか考える。
参加者数	社会人（高校生を含む） 51人 大学生 34人 その他 38人 計 123人	

2008年度 第2回（通算：第7回）

	講義1	講義2
講義名	「消費生活を考えてみよう」	「音楽のしくみを知ろう ～うたのはじめはドレミ～」
講師	色川 卓男氏 静岡大学教育学部准教授（家政教育）	北山 敦康氏 静岡大学教育学部教授（音楽教育）
講義概要	自分の持ち物のうち「買った物じゃない」という物は、ほとんどない。買う＝消費について考える。	音楽はチョットした仕組みが分かると、より楽しくなる。ハンドサインや変わった楽器演奏に挑戦する。
参加者数	社会人（高校生を含む） 47人 大学生 43人 その他 43人 計 133人	

2009年度 第1回（通算：第8回）

	演習	講義1	講義2
講義名	アイスブレイク ～学びのなかま～	「人はなぜ悪いことをするのか？」	「世界へ羽ばたけ！富士山静岡空港」
講師	大畑 智里氏 静岡大学教育学部附属特別支援学校 教諭	石井 潔氏 静岡大学教育学部教授 学部長	岩瀬 智久氏 静岡県空港部職員
講義概要	深呼吸でリラックス。気持ちよく相手とつきあうための距離感、席の選び方を考える。	「悪い」と分かっているのに「悪いこと」をするのは「仕方ない」から。「仕方ある」にするためには、どうしたらいいのか、社会の仕組みを考える。	6月4日に富士山静岡空港が開港。行き先は？空港の施設は？搭乗手続きは？働いている人は？空の旅の情報が満載。
参加者数	社会人（高校生を含む） 51人 大学生 23人 その他 33人 計 107人		

2009年度 第2回（通算：第9回）

	演習	講義1	講義2
講義名	アイスブレイク ～学びのなかま～	「TVCMっておもしろい！！」	「60分ヒップホップマスター」
講師	大畑 智里氏 静岡大学教育学部附属特別支援学校 教諭	佐々木 洋氏 電通東日本静岡支社クリエイティブ部 主務	中村 友香氏 静岡県立浜松特別支援学校 教諭
講義概要	フィーリング グッド効果 場所や雰囲気がよいと気分がよくなって仲よくなれる。	1本を作るのに10億円かかるCMもある。TVCMは、あの手この手を使って、私たちの気を引き、メッセージを送っている。	みんなで楽しくヒップホップに挑戦。ストレス発散、集中力もアップ。チームで踊ればパワー100倍。
参加者数	社会人（高校生を含む） 53人 大学生 36人 その他 34人 計 123人		

2010年度 第1回（通算：第10回）

講義名	演習	講義
	アイスブレイク ～学びのなかま～	「描くことの魅力を探ろう ～色やかたちを見つめて～」
講師	大畑 智里氏 静岡大学教育学部附属特別支援学校 教諭	高橋 智子氏 静岡大学教育学部講師（美術教育）
講義概要	アイコンタクト 表情の中で、視線は特に重要。相手の目を見つめよう。目を合わせると笑顔になる。	クロード・モネの作品を鑑賞しながら、対象物を見る、とはどういうことなのかを考える。実際に「身近な植物」をモチーフに、えんぴつでスケッチをし、水彩絵の具で色を塗り、作品を完成させる。
参加者数	社会人（高校生を含む） 52人 大学生 35人 その他 40人 計 127人	

2010年度 第2回（通算：第11回）

	演習	講義 1	講義 2
講義名	アイスブレイク ～学びのなかま～	「日本の食文化を知ろう！」	「世界の人と『こんにちは』」
講師	大畑 智里氏 静岡大学教育学部 附属特別支援 学校 教諭	新井 映子氏 静岡県立大学食品栄養学部 教授	案野 香子氏 静岡大学国際交流センタ ー 准教授
講義概要	笑顔がつくる好印象 言葉の最後に 無言の「イ」をつけ よう。すてきな笑顔 の基本です。	昔の日本人は何を食べていた のかな。お米を食べ始めたのは いつからだろう。原始の時代か ら現代まで、食べ物や食べ方の 移り変わりを学ぶ。	世界にはいろんな国がある。 オーストラリア、韓国、フィ リピンからの留学生に、母国 での暮らしや、日本や静岡の 印象を聞く。
参加者数	社会人（高校生を含む）46人 大学生36人 その他34人 計116人		

2011年度 第1回（通算：第12回）

	演習	講義 1	講義 2
講義名	アイスブレイク ～学びのなかま～	「体力向上のポイント」	「最新家電事情～家電の使 い方、選び方で省エネ」
講師	大畑 智里氏 静岡大学教育学部 附属特別支援 学校 教諭	伊藤 宏氏 静岡大学教育学部教授 （保健体育教育講座）	西谷 貴史氏 株式会社コジマ CRS推進室
講義概要	力を入れたり抜い たりすることでリ ラックスしよう コミュニケーション の基本はあいさ つから	体力向上のポイントは寝ること、 歩くこと。運動を上手に続 けると、心が強くなり、体が丈 夫になる。常に問いかけ、不 思議に思う気持ちを持ち続ける ことで、心も生き生きと。	エアコンは夏より冬の方が 効率的？テレビは大きいほ ど電気代が安くなる？いろ いろな問題を考えながら、家 電の使い方で省エネにチャ レンジ。
参加者数	社会人（高校生を含む）58人 大学生26人 その他41人 計125人		

2011年度 第2回（通算：第13回）

	講義											
講義名	登呂ムラ歴史探訪～弥生人の生活を追え！											
講師	長谷川 秀厚氏 静岡市立登呂博物館 主幹 菊田 宗氏 静岡市生活文化局文化スポーツ部 文化財課 主査											
講義概要	なぜ登呂ムラができたのか。登呂ムラの人の住居は？食事は？服装は？今回は、初めてのフィールドワーク。静岡大学のキャンパスを出て、現地「登呂遺跡」へ。博物館や遺跡を実際に歩いて、見て、聞いて、体験して、当時の人々の生活に思いを馳せる。											
参加者数	<table><tr><td>社会人（高校生を含む）</td><td>50人</td></tr><tr><td>大学生</td><td>31人</td></tr><tr><td>その他</td><td>35人</td></tr><tr><td colspan="2"> </td></tr><tr><td>計</td><td>116人</td></tr></table>		社会人（高校生を含む）	50人	大学生	31人	その他	35人			計	116人
社会人（高校生を含む）	50人											
大学生	31人											
その他	35人											
計	116人											

2012年度 第1回（通算：第14回）

	演習	講義 1	講義 2								
講義名	アイスブレイク ～学びのなかま～	「グラフの話～点と線でできた図形を数学的に考えよう」	「ロンドンオリンピック開幕！～イギリスへの旅」								
講師	大畑 智里氏 静岡大学教育学部附属特別支援学校 教諭	大田 春外氏 静岡大学教育学部教授 (数学教育教室)	勝又 勇紀氏 株式会社 J T B 中部 営業第二課長								
講義概要	会話にはリズムが大切。話すスピードに気をつけると話し上手に、「はひふへほ」で相づちをうつと聞き上手になれる。	トーナメント表も電車の路線図も電子回路の基板もグラフだった！私たちの身近で、グラフはいろいろ使われている。どんな図形が一筆書きで書けるか、オイラーの定理から考える。	オリンピックが 1 0 0 倍おもしろくなるロンドンの話。海外旅行へ行くための手引きから、料理、歴史、観光など、イギリスの魅力を幅広く紹介する。								
参加者数	<table><tr><td>社会人（高校生を含む）</td><td>6 2 人</td></tr><tr><td>大学生</td><td>2 0 人</td></tr><tr><td>その他</td><td>3 2 人</td></tr><tr><td>計</td><td>1 1 4 人</td></tr></table>			社会人（高校生を含む）	6 2 人	大学生	2 0 人	その他	3 2 人	計	1 1 4 人
社会人（高校生を含む）	6 2 人										
大学生	2 0 人										
その他	3 2 人										
計	1 1 4 人										

2012年度 第2回（通算：第15回）

	演習	講義1	講義2
講義名	アイスブレイク ～学びのなかま～	「お顔のケアで印象アップ！ ～素敵な大人をめざそう～」	「ダンスで交流してみよう —ダンスはみんなの共通語」
講師	大畑 智里氏 静岡大学教育学部附属特別支援 学校 教諭	佐藤 陽子氏、上鶴 りさ氏 資生堂販売(株)中部支社静岡 オフィス 大石 景子氏、勝山枝里子氏 STACK hair design	山崎 朱音氏 静岡大学教育学部助教 保健体育教室
講義概要	元気なあいさつ、話すよりも聞くこと、失敗を気にしないで自信を持つことで、対人不安を吹き飛ばそう。	自分の肌タイプをチェックした後、実際に化粧水や乳液を使って、肌の手入りを体験。女性はアイシャドウや口紅の使い方を、男性は頭皮ケアや髪、眉の手入りを学んで、素敵に変身。	ダンスは、ことばや文字が生まれる前から存在した人類最古の文化。ダンスは変化する。ダンスはコミュニケーションの道具。ダンスに正解はない。さあ、みんなで楽しく踊ろう。
参加者数	社会人（高校生を含む） 54人 大学生 44人 その他 35人 計 133人		

（五條由美子）

スタッフ名簿

学ぶって楽しい！－大学で学ぼう－実行委員会

(静岡県障害者就労研究会)

大畑 智里	川原 貴之	五條由美子	齊藤 望	柴田カヨ子
杉山 晴美	瀬戸脇正勝	高木 亮	田中宏和	徳増五郎
外山 真吾	永瀬 昌子	村松智恵子	渡辺 明広	

静岡大学教育学部附属特別支援学校

岩附 敦史	太田 貴夫	小倉 寛子	勝山 侑紀	黒岩 一雄
品川 綾香	高山 尚子	平田 岳	深津 臣	山田 里佳

静岡県立静岡北特別支援学校

奥山 保子	北原 梨花	國宗 久男	繁本 千尋	清水 美雪
鈴木 勝晃	中村 桃子	長倉結梨亜	羽山奈緒美	

静岡県立藤枝特別支援学校

長谷部千恵

静岡県立総合教育センター

岩見 良憲

静岡大学教育学部学校教育教員養成課程特別支援教育専攻1年生、2年生、3年生

(あいうえお順)

このほかにもお手伝いいただいた方がいらっしゃったかもしれません。お名前が入っていない方がいらっしゃったら、申し訳ありません。

多くの方の御協力をいただき、ありがとうございました。

編集後記

今回も、第14回、第15回の「学ぶって楽しい！－大学で学ぼう－」についての講義記録や受講生の感想等をまとめました。

アイスブレイクについては、2008年度から始めた静岡大学講座ならではの演習としてすっかり定着し、受講生の皆さんも毎回楽しみにしています。今年度のアイスブレイクも、受講者が学び合う人間関係づくりの基礎となるような内容で、心理学的な知識も盛り込まれ、知的好奇心を喚起する演習となりました。受講生の日々の生活の中で、悩みの多い人間関係づくりにも役に立つ内容ばかりだったと思います。

今年度は、前回、登呂遺跡でのフィールドワークから再び、静岡大学の講義室に場所を移して実施しました。2回にわたる講義では、旅行会社の添乗員、美容師、化粧品会社、大学教授の方々と、それぞれの職業のプロフェッショナルの方をお招きして、充実した講義を開くことができました。この講座で大切にしてきた、学びのパートナーの学生さんと受講生の皆さんと共に学びあう姿も多く見られ、大変良かったと思います。

これからも、受講生の皆さんの知的好奇心をくすぐるような楽しい講義内容を目指していきたいと思いますので、皆さんからのご意見、ご要望を是非お寄せ下さい。

(高木)

通算14回目と15回目の大学公開セミナーについてまとめました。

数学やスキンケアは、このセミナーで初めて取り上げる内容です。一方、旅行やダンスは人気があり、何回か取り上げています。今回はロンドンオリンピック、コミュニケーションダンスというテーマを決めて講義を行いました。どの講義も、その道のスペシャリストの方に来ていただき、とても充実した内容になりました。

こういった講義の内容は、2月に行われる就労フォーラムの本人部会に参加したみなさんの希望をもとに、決められています。

昨年度のフォーラムでは、今回取り上げた内容のほかに、こんな要望が出ていました。

「将来のことについて話をしたい」「節電について」「就職の内定率について」

「原子力発電について」「地震・津波がおきたときの対処法」「富士山はいつ爆発するか」

「アメリカの国旗」「タイの洪水」「幽霊・妖怪」「宇宙人」「歌を歌いたい」

自分の身近な問題、現在の社会状況、世界レベルでの内容、趣味の世界、と幅広く興味・関心を持っていらっしゃるようです。

このような受講者の希望をもとにテーマを設定し、一流の講師の方に講義を作っていただいていることがこの講座の魅力の一つだと思います。

もうひとつの大学講座の魅力は、学びのパートナーの存在です。毎回趣向を凝らした内容で講座を盛り上げてくださったり、学びのパートナーとして受講者の緊張をほぐし、自然に意見を引き出してくださったりと、たいへん大きな役割を果たしています。

大学公開セミナーを支えてくださっているたくさんのみなさん、ありがとうございます。今後とも、内容を充実させ、みなさんに満足していただける内容にしていきたいと思います。これからもよろしくお願いします。

(五條)

2012 静岡大学公開セミナー報告集（通巻第9号）

「学んで楽しい！ー大学で学ぼうー」

学びの内容とその支援

発行日——2013年3月31日

編 集——静岡県障害者就労研究会
（連絡先）静岡大学教育学部 渡辺明広研究室
☎ 054-238-4246

発 行——国立大学法人静岡大学 イノベーション社会連携
推進機構（地域連携生涯学習部門）
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
☎ 054-238-4817